MITSUBISHI

MELSOFT

Integrated FA Software

GT Converter2

Version 2

操作マニュアル



SW2D5C-GTWK2-J

SW2D5C-GTD2-J

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は，本製品に関するもののみについて記載したものです。

この●安全上のご注意●では，安全注意事項のランクを「危険」,「注意」として区分してあります。

⚠危険	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。**
⚠注意	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。**

なお,⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【変換時の注意事項】

⚠注意

● GT Converter2 は, GOT1000 シリーズや GOT-A900 シリーズ用プロジェクトデータへの変換をすべて保証するものではありません。
変換したプロジェクトデータを GOT へダウンロードする前に，必ず GT Designer2 で設定内容を確認し，必要に応じて修正を行ってください。
設定内容の確認および修正を行わない場合，誤動作の原因となります。

本ソフトウェアご使用上の注意事項

1. 使用するパソコンのメモリについて
   パソコンの機種によっては主メモリ 64M バイト以下の場合，Windows® により処理を終了される場合があるので，主メモリを 64M バイト以上にしてご使用ください。

2. ハードディスク（仮想メモリ）の空き容量について
   本ソフトウェア実行中は，ハードディスクの仮想メモリの空き容量が 50M バイト以上必要です。
   GT Converter2 実行中に空き容量が 50M バイト以上確保できなくなった場合は，Windows® により処理が終了される場合があります。
   ハードディスクの仮想メモリの空き容量を十分確保して使用してください。

3. 変換ログに表示されるエラーメッセージについて
   “ メモリが不足しています。”
   “Insufficient memory.”
   上記エラーが表示された場合には，同時に起動しているアプリケーションソフトウェアを終了するか，Windows® を再起動して，ハードディスクの空き容量を 50M バイト以上確保してください。

4. OS の設定
   OS（Windows® ）の画面設定は，フォントサイズを「小さいフォント」で設定してください。
   フォントサイズを「大きいフォント」で設定していると，GT Converter2 のダイアログボックスなどが，正しく表示されません。

改 定 履 歴

※ 取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

印刷日付	※ 取扱説明書番号	改 定 内 容
2004 年 7 月	SH(名)-080512-A	初版印刷
2005 年 1 月	SH(名)-080512-B	GT Converter2 Version2.07H 版に対応 一部修正 1.1 節，3.1 節，4.1.1 項，4.1.2 項，4.2 節，4.4 節，5.3 節，5.3.2 項，5.4 節，5.4.1 項，付 2.2，付 2.3，付 2.6 追 加 付 3
2005 年 11 月	SH(名)-080512-C	GT Converter2 Version2.25B 版に対応 一部修正 付 2.2，付 2.8，付 3
2006 年 5 月	SH(名)-080512-D	一部修正 付 2.1
2006 年 8 月	SH(名)-080512-E	GT Converter2 Version2.40S 版に対応 一部修正 5.3.2 項，付 2.1，付 2.2，付 2.6，付 2.7，付 3
2007 年 7 月	SH(名)-080512-F	GT Converter2 Version2.66U 版に対応 一部修正 付 2.5 一部追加 3.1 節，付 2.6，付 2.7，付 3
2007 年 10 月	SH(名)-080512-G	GT Converter2 Version2.72A 版に対応 一部修正 1.1 節，3.1 節，4.1.2 項，5.3 節，5.3.2 項， 一部追加 5.4.1 項，付 1.2
2008 年 4 月	SH(名)-080512-H	GT Converter2 Version2.80J 版に対応 一部修正 2.1 節，2.2 節，付 1.2 一部追加 1 章，5.4.1 項，付 3

印刷日付	※ 取扱説明書番号	改　定　内　容
2010 年 4 月	SH(名)-080512-I	一部追加 付 3
2010 年 8 月	SH(名)-080512-J	一部修正 付 1.2，付 3

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また
本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

© 2004 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

はじめに

このたびは，三菱グラフィックオペレーションターミナルをお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用前に本書をよくお読みいただき，グラフィックオペレーションターミナルの機能・性能を十分ご理解のうえ，正しくご使用くださるようお願い致します。

目　次

安全上のご注意 ····· A - 1
改　定　履　歴 ····· A - 3
はじめに ····· A - 4
目　次 ····· A - 5
マニュアルについて ····· A - 7
本マニュアルで使用する略称，総称 ····· A - 8
マニュアルの読み方 ····· A - 10

1 章　概要　1 - 1 ～ 1 - 2

1.1　特長　1 - 1

2 章　システム構成　2 - 1 ～ 2 - 2

2.1　システム構成　2 - 1
2.2　動作環境　2 - 1

3 章　仕様　3 - 1 ～ 3 - 2

3.1　対応ファイル形式　3 - 1

4 章　GT Converter2 の画面構成　4 - 1 ～ 4 - 4

4.1　画面構成と基本操作　4 - 1
4.1.1　画面構成 ····· 4 - 1
4.1.2　基本操作 ····· 4 - 1
4.2　メニューバー　4 - 2
4.3　ツールバー　4 - 2
4.4　ヘルプの使い方　4 - 3

5 章　GT Converter2 の操作方法　5 - 1 ～ 5 - 18

5.1　操作手順　5 - 1
5.2　変換元ファイルを開く　5 - 2

5.3 変換を行う 5 - 4
5.3.1 出力先設定を行う ····· 5 - 5
5.3.2 変換オプション設定を行う ····· 5 - 6
5.4 変換結果を確認する 5 - 7
5.4.1 変換ログ一覧 ····· 5 - 9
5.5 GT Converter2 を終了する 5 - 18

付 録 付 - 1 ～ 付 - 26

付 1 GOT800 シリーズの変換仕様 付 - 1
付 1.1 図形の変換仕様 ····· 付 - 1
付 1.2 スプライトの変換仕様 ····· 付 - 2
付 2 GP-PRO/PB Ⅲシリーズの変換仕様 付 - 3
付 2.1 プロジェクトデータの変換仕様 ····· 付 - 3
付 2.2 GP タイプ ····· 付 - 9
付 2.3 PC タイプ ····· 付 - 12
付 2.4 画面情報 ····· 付 - 14
付 2.5 描画情報 ····· 付 - 14
付 2.6 タグ情報 ····· 付 - 15
付 2.7 部品情報 ····· 付 - 18
付 2.8 D スクリプト ····· 付 - 19
付 2.9 LS エリア ····· 付 - 24
付 3 GP-PRO/PB Ⅲシリーズプロジェクトデータの置き換え手順 付 - 26
付 3.1 置き換え手順 ····· 付 - 26
付 3.2 GP2000 システムデータ ····· 付 - 33
付 4 GT Converter2 のバージョンアップ追加機能一覧 付 - 38

マニュアルについて

本製品に関連するマニュアルには，下記のものがあります。
必要に応じて本表を参考にしてご依頼ください。

関連マニュアル

マニュアル名称	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT Designer2 Version2 基本操作・データ転送マニュアル（GOT1000 シリーズ対応） GT Designer2 のインストール操作，作画のための基本操作や GOT1000 シリーズへのデータ転送方法などについて説明 （別　　売）＊1	SH-080508 (1D7M13)	￥3,000
GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）1/3 GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）2/3 GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル（GOT1000 シリーズ対応）3/3 GOT1000 シリーズで使用する各オブジェクト機能の仕様や設定内容などについて説明 （別　　売）＊1	SH-080509 (1D7M14)	￥7,000 (1/3 ～ 3/3 のセット価格です。)
GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル（スタートアップ・入門編） GT Designer2 のインストール方法，初めて GOT900 シリーズを使用する人向けの，作画方法について説明 （別　　売）＊1	SH-080513 (1D7M17)	￥1,500
GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル GT Designer2 の操作方法，GOT900 シリーズへのデータ転送方法などについて説明 （別　　売）＊1	SH-080514 (1D7M18)	￥3,000
GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアル GOT900 シリーズで使用する各オブジェクト機能の仕様，設定内容などについて説明 （別　　売）＊1	SH-080515 (1D7M19)	￥4,000

＊1 GT Works2，GT Designer2 の製品に PDF で格納されています。

本マニュアルで使用する略称，総称

本マニュアルの説明で使用している略称，総称を下記に示します。

■ GOT

略称／総称			内容
GOT1000シリーズ	GT SoftGOT1000		GT SoftGOT1000 の略称
	GT1595	GT1595-X	GT1595-XTBA，GT1595-XTBD の略称
	GT1585	GT1585V-S	GT1585V-STBA，GT1585V-STBD の略称
		GT1585-S	GT1585-STBA，GT1585-STBD の略称
	GT157□	GT1575V-S	GT1575V-STBA，GT1575V-STBD の略称
		GT1575-S	GT1575-STBA，GT1575-STBD の略称
		GT1575-V	GT1575-VTBA，GT1575-VTBD の略称
		GT1575-VN	GT1575-VNBA，GT1575-VNBD の略称
		GT1572-VN	GT1572-VNBA，GT1572-VNBD の略称
	GT156□	GT1565-V	GT1565-VTBA，GT1565-VTBD の略称
		GT1562-VN	GT1562-VNBA，GT1562-VNBD の略称
	GT155□	GT1555-V	GT1555-VTBD の略称
		GT1555-Q	GT1555-QTBD，GT1555-QSBD の略称
		GT1550-Q	GT1550-QLBD の略称
	GT15□□，GT15		GT1595，GT1585，GT157□，GT156□，GT155□の略称
	GT115□	GT1155-Q	GT1155-QTBDQ，GT1155-QSBDQ，GT1155-QTBDA，GT1155-QSBDA，GT1155-QSBD の略称
		GT1150-Q	GT1150-QLBDQ，GT1150-QLBDA，GT1150-QLBD の略称
	ハンディGOT	GT1155HS-Q	GT1155HS-QSBD の略称
		GT1150HS-Q	GT1150HS-QLBD の略称
	GT11□□，GT11		GT115□，ハンディ GOT の略称
	GT1030		GT1030-LBD，GT1030-LBD2，GT1030-LBDW，GT1030-LBDW2 の略称
	GT1020		GT1020-LBD，GT1020-LBD2，GT1020-LBL，GT1020-LBDW，GT1020-LBDW2，GT1020-LBLW の略称
	GT10□□，GT10		GT1030，GT1020 の略称
GOT900 シリーズ			GOT-A900 シリーズ，GOT-F900 シリーズの略称
GOT800 シリーズ			GOT-800 シリーズの略称

■ ソフトウェア

略称／総称	内容
GT Converter2	GOT1000/GOT900 シリーズ用データ変換ソフト GT Converter2 の略称
GT Works2 Version □	SW □ D5C-GTWK2-J, SW □ D5C-GTWK2-JV
GT Designer2 Version □	SW □ D5C-GTD2-J, SW □ D5C-GTD2-JV
GT Designer2	GOT1000/GOT900 シリーズ用画面作成ソフト GT Designer2 の略称
GT Simulator2	GOT1000/GOT900 シリーズ用スクリーンシミュレータ GT Simulator2 の略称
GT SoftGOT1000	モニタリングソフト GT SoftGOT1000 の略称
GT SoftGOT2	モニタリングソフト GT SoftGOT2 の略称
GX Developer	SW □ D5C-GPPW-J(-JV)/SW □ D5F-GPPW(-V) 形ソフトウェアパッケージの略称
GX Simulator	SW □ D5C-LLT-J(-JV) 形ラダーロジックテストツール機能ソフトウェアパッケージの略称 (SW5D5C-LLT(-V) 以降)
PX Developer	SW □ D5C-FBDQ-J 形計装制御用 FBD ソフトウェアパッケージの略称
Document Converter	GOT1000 シリーズ用ドキュメントデータ変換ソフト Document Converter の略称
DU/WIN	PX-PCS-DU/WIN の略称
SW3NIW-A8GOTP	SW3NIW-A8GOTP 形作画設定ソフトウェアパッケージ
GP-PRO/PB Ⅲシリーズ	GP-PRO/PB Ⅲ（DOS 版), GP-PRO/PB Ⅲ for Windows95, GP-PRO/PB Ⅲ for Windows, GP-PRO/PB Ⅲ C-Package01, GP-PRO/PB Ⅲ C-Package02, GP-PRO/PB Ⅲ C-Package03 の総称

■ その他

略称／総称	内容
パソコン	IBM PC/AT® パソコンおよび互換機の DOS/V 対応パソコンの略称。(PC98-NX® を含む。)

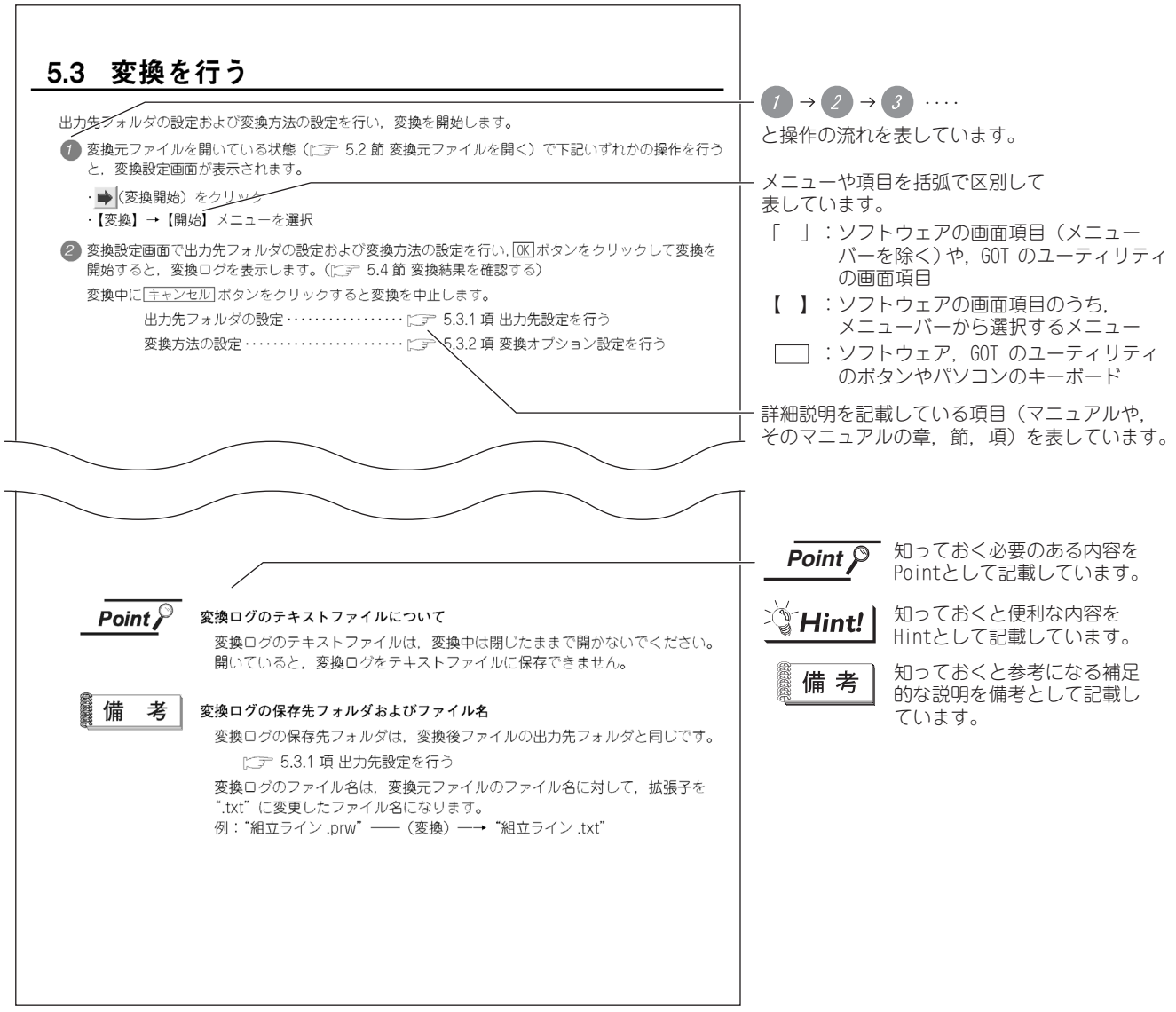
マニュアルの読み方

1 各機能について

本マニュアルは GT Converter2 Version2.80J 版の内容について記載しています。
製品のバージョンアップに伴う追加機能については，付録の GT Converter2 のバージョンアップ追加機能一覧を参照してください。

2 記号について

本マニュアルで使用している記号について説明します。



＊ 上記は説明のために作成したページのため，実際のページとは異なります。

Memo

1章　概要

本マニュアルは，GT Converter2 の仕様，操作方法について説明したものです。

Point

GT Converter2 のインストール方法

GT Converter2 のインストール方法については，下記のマニュアルを参照してください。

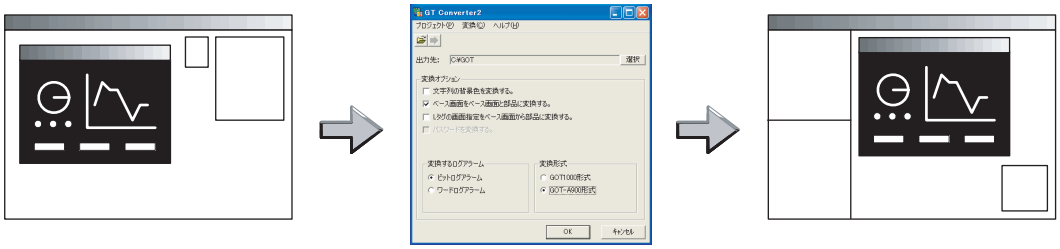
☞ GT Designer2 Version □ 基本操作・データ転送マニュアル
（2.2 節 各ソフトウェアのインストール）

1.1　特長

GT Converter2 は既存の作画ソフトで作成したプロジェクトデータを，GT Designer2 で使用できるプロジェクトデータに変換するためのソフトウェアです。

1 株式会社デジタル製の作画ソフトに対応 ·····☞ 3.1 節 対応ファイル形式

株式会社デジタル製の作画ソフト GP-PRO/PB Ⅲシリーズで作成したプロジェクトデータを，GT Designer2 のプロジェクトデータ（GOT1000 または GOT-A900 対応）に変換できます。

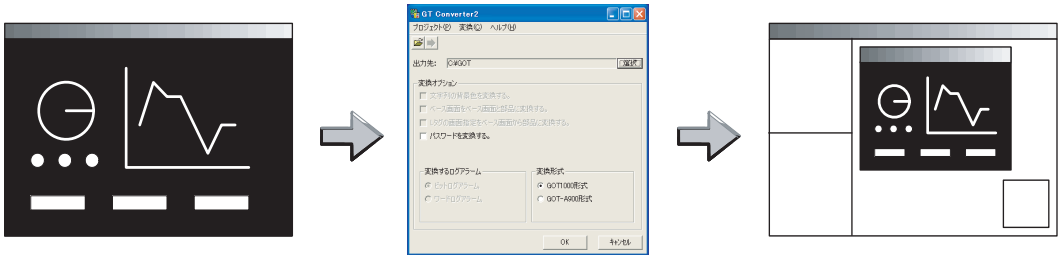


GP-PRO/PBⅢシリーズ　　GT Converter2　　GT Designer2

変換後の GOT タイプは，GOT1000 シリーズまたは GOT-A900 シリーズから選択できます。

2 GOT800 シリーズ用の作画ソフトに対応 ·····☞ 3.1 節 対応ファイル形式

GOT800 シリーズ用の作画ソフト SW3NIW-A8GOTP で作成したプロジェクトデータを，GT Designer2 のプロジェクトデータ（GOT1000 または GOT-A900 対応）に変換できます。

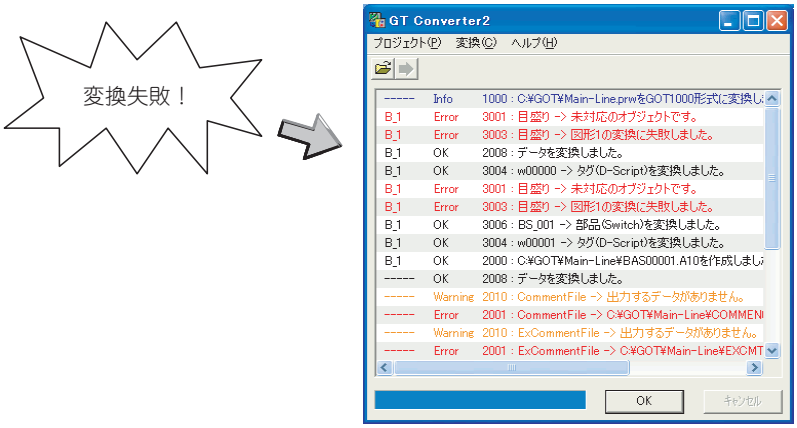


SW3NIW-A8GOTP　　GT Converter2　　GT Designer2

変換後の GOT タイプは，GOT1000 シリーズまたは GOT-A900 シリーズから選択できます。

3 変換ログの出力 ····· ☞ 5.4 節 変換結果を確認する

変換ログ（変換結果）を画面に表示し，テキストファイルに保存します。
変換に失敗した場合には，変換ログを参照すると失敗した原因を確認できます。



2章　システム構成

2.1　システム構成

GT Converter2 は，GT Designer2 と同じパソコンにインストールして使用するため，システム構成は GT Designer2 と同じです。

システム構成 ・・・・・・・・・・・☞ GT Designer2 Version □基本操作・データ転送マニュアル（1.5 節 システム構成）

2.2　動作環境

項　目		内　容
パソコン		Windows® が動作する PC/AT 互換機
OS		Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版 Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版 Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 Operating System 日本語版＊1 Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System 日本語版＊1 Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版＊1＊3＊4 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版＊1＊3＊4 Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System 日本語版＊2＊3＊4 Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System 日本語版＊2＊3＊4 Microsoft® Windows Vista® Business Operating System 日本語版＊2＊3＊4 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System 日本語版＊2＊3＊4 Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System 日本語版＊2＊3＊4
コンピュータ本体		下記の「使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能」を参照
	CPU	
	必要メモリ	
ハードディスク空き容量		インストール時　：10MB 以上 実行時　　：50MB 以上
ディスクドライブ		CD-ROM ディスクドライブ
表示色		High Color(16 ビット) 以上
ディスプレイ		解像度 800×600 ドット以上
その他		Internet Explorer Ver5.0 以上のインストールが必要
		マウス , キーボード , プリンタ ,CD-ROM ドライバは上記 OS で使用可能なもの

＊1 GT Converter2 をインストール時，Administrator の権限が必要です。
＊2 GT Converter2 をインストール時，管理者の権限が必要です。
＊3 下記機能は，サポートしていません。
・「互換性モード」
・「デスクトップテーマ（フォント）の変更」
・「ユーザの簡易切り換え」
・「リモートデスクトップ」
＊4 32 ビット版 OS のみ対応します。

Point

Windows® のコントロールパネルの地域設定

Windows® のコントロールパネル内の地域設定を “ 日本語 ” 以外に設定した場合，本ソフトウェアは正しく動作しませんので，必ず “ 日本語 ” に設定してください。

使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能

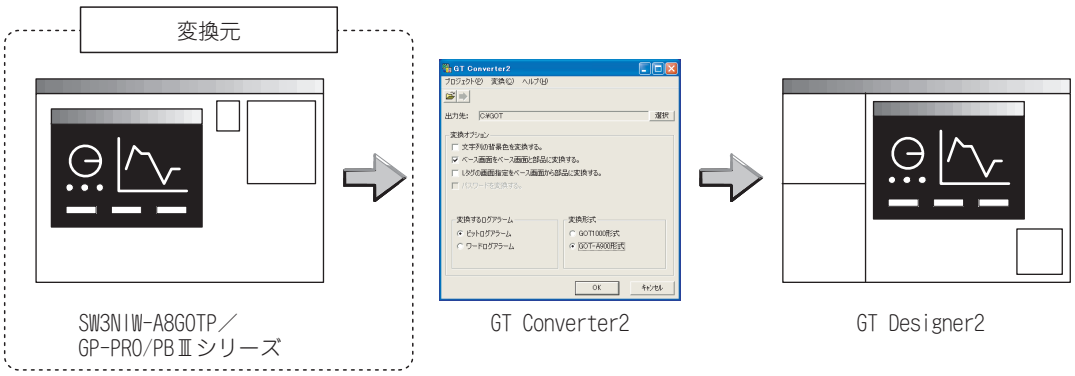
基本ソフトウェア	パソコン本体に必要な性能	
	CPU	必要メモリ
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版	Pentium Ⅱ® 300MHz 以上	128MB 以上
Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Business Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System 日本語版	800MHz 以上 （推奨 1GHz 以上）	512MB 以上 （推奨 1GB 以上）

3章　仕様

3.1　対応ファイル形式

GT Converter2 に対応している変換元および変換後のファイル形式について説明します。

1 変換元ファイル形式



(1)　株式会社デジタル製の作画ソフトの場合

変換元に指定できるファイル形式を下記に示します。

作画ソフト名称	ファイル形式
GP-PRO/PB Ⅲ for Windows95 GP-PRO/PB Ⅲ for Windows GP-PRO/PB Ⅲ C-Package01 GP-PRO/PB Ⅲ C-Package02 GP-PRO/PB Ⅲ C-Package03	ProPB/Win プロジェクト形式 (*.prw)
GP-PRO/PB Ⅲ（DOS 版）	ProPB/DOS プロジェクト形式 (*.pro)

Point

株式会社デジタル用プロジェクトデータ変換時の注意事項

株式会社デジタル用のプロジェクトデータが正しく変換されない場合は，株式会社デジタル製の作画ソフト GP-PRO/PB Ⅲシリーズでプロジェクトデータを開き，再保存してから変換を行うと改善される場合があります。
株式会社デジタル製作画ソフト GP-PRO/PB Ⅲシリーズの詳細については，下記を参照してください。

☞ 株式会社デジタル GP-PRO/PB Ⅲシリーズのマニュアル

(2) GOT800 シリーズ用の作画ソフトの場合

変換元に指定できるファイル形式を下記に示します。

作画ソフト名称	ファイル形式
SW3NIW-A8GOTP	GOT800 形式 (a8gotp.got)

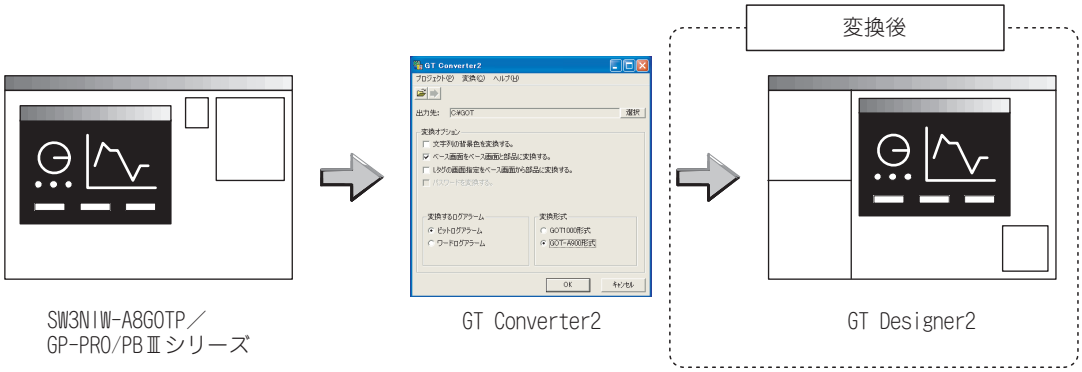
備　考

A64GOT または A77GOT 用プロジェクトデータの流用

A64GOT または A77GOT 用のプロジェクトデータはまず SW3NIW-A8GOTP を使用して，GOT800 形式に変換してください。
GOT800 形式に変換したプロジェクトデータは，GT Converter2 を使用して GT Designer2 用のプロジェクトデータに変換することができます。
A64GOT または A77GOT 用プロジェクトデータから GOT800 形式への変換の詳細は，下記を参照してください。

☞ SW3NIW-A8GOTP 形作画設定ソフトウェアパッケージオペレーティングマニュアル（モニタ画面作成編）(IB-68913)（2.5 節　従来品 GOT データを流用するには？）

2 変換後ファイル形式



変換後に指定できるファイル形式を下記に示します。

メーカ	作画ソフト名称	ファイル形式
三菱電機	GT Designer2	GOT1000 形式 (*.g1)
		GOT-A900 形式 (A9GOTP.GOT)

備　考

変換後ファイルのデータサイズについて

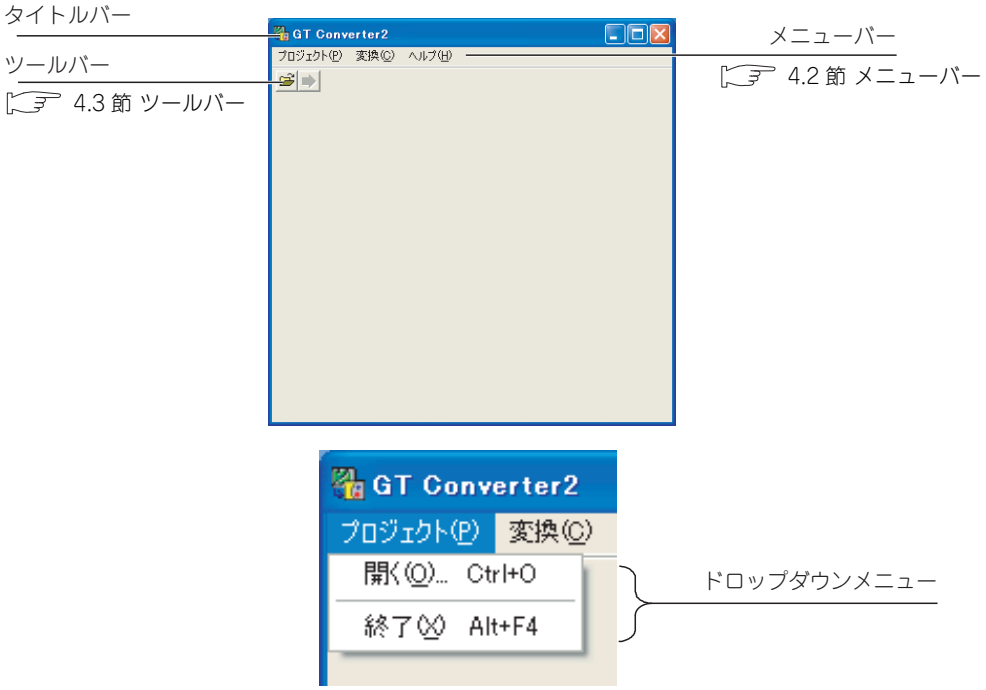
変換後ファイルのデータサイズを確認する場合は，GT Designer2 でプロジェクトデータを 1 度保存し，保存したプロジェクトデータを開き直して確認してください。
上記の操作を行わないと，データサイズが正しく表示されない場合があります。

4章　GT Converter2の画面構成

4.1　画面構成と基本操作

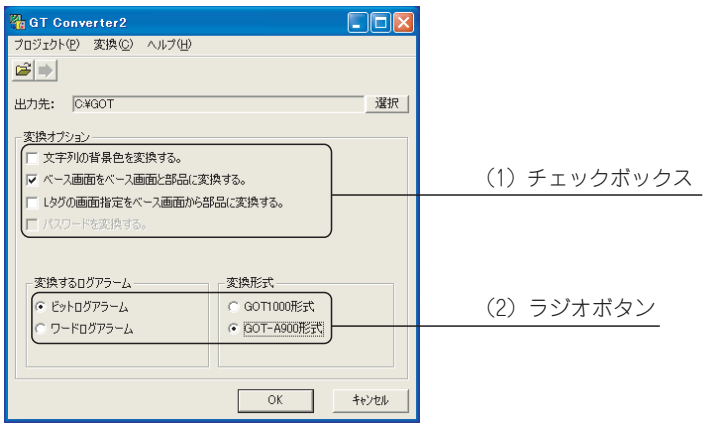
4.1.1　画面構成

画面構成について説明します。



4.1.2　基本操作

基本操作について説明します。



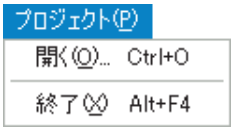
(1)　チェックボックス
項目を実行する場合は□をクリックして✓印をつけます。

(2)　ラジオボタン
選択する項目の○をクリックします。

4.2 メニューバー

メニューバーに割り付けられているコマンドについて説明します。

プロジェクト



プロジェクトメニューには，プロジェクトデータを開く機能およびGT Converter2 を終了する機能が含まれています。

☞ 5 章 GT Converter2 の操作方法

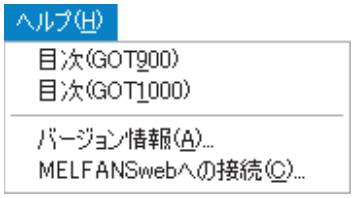
変換



変換メニューには，変換設定画面を表示する機能が含まれています。

☞ 5 章 GT Converter2 の操作方法

ヘルプ



ヘルプメニューには，GT Converter2 に関連する PDF ファイルの閲覧，ソフトウェアバージョンの確認などができる機能が含まれています。

☞ 4.4 節 ヘルプの使い方

4.3 ツールバー

ツールバーについて説明します。



名称	内容
開く	変換元のファイルを開きます。
変換開始	変換設定を行い，変換を行います。

4.4　ヘルプの使い方

ヘルプでは，GT Converter2 に関連する PDF マニュアルの閲覧，ソフトウェアバージョンの確認などができます。

Point

PDF マニュアルを閲覧する前に

PDF マニュアルを閲覧する為には，GT Manual および Adobe® Reader® をインストールする必要があります。

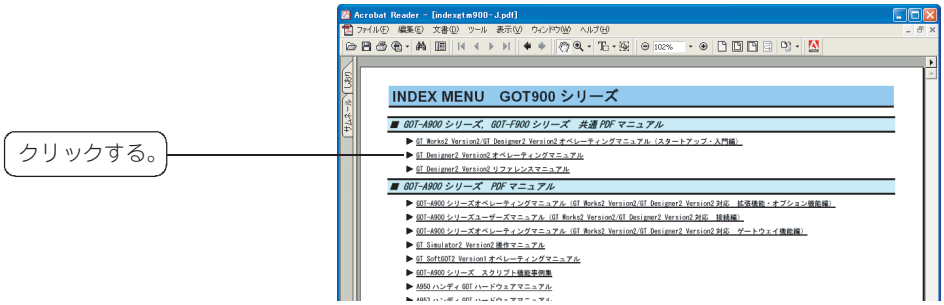
1 操作方法

1 【ヘルプ】の各メニューをクリックします。

項　　目	内　　容
【目次 (GOT900)】，【目次 (GOT1000)】	PDF マニュアルを閲覧します。
【バージョン情報】	GT Converter2 のバージョンを確認できます。
【MELFANSweb への接続】	三菱電機 FA 機器技術情報サービス MELFANSweb ホームページに接続します。

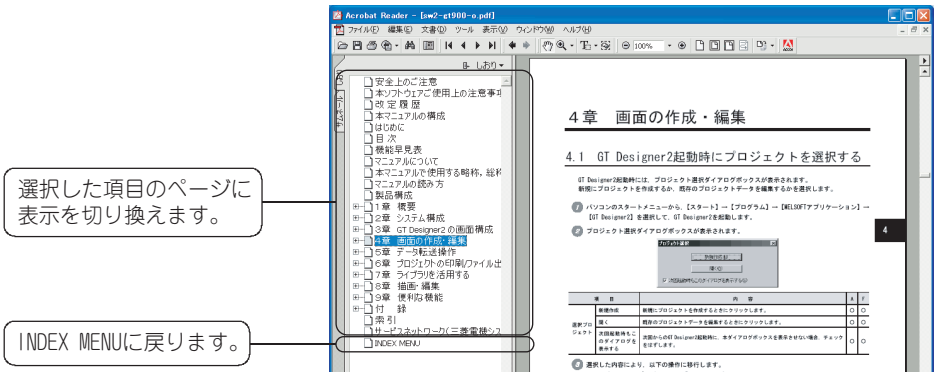
2 PDF マニュアルの閲覧手順（【目次 (GOT900)】／【目次 (GOT1000)】選択時）

1 1 の操作後，下記の画面が表示されるので，参照したいマニュアルをクリックしてください。



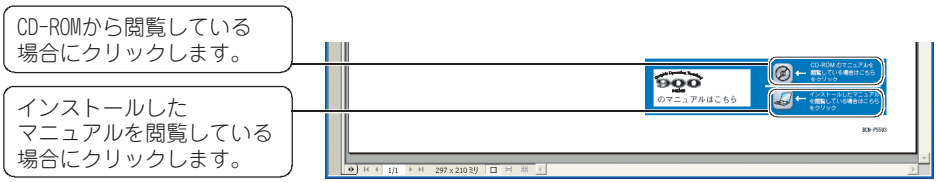
＊ 上記は説明のために作成したページのため，実際のページとは異なります。

2 選択したマニュアルが表示されます。
（Adobe® Reader® の操作方法の詳細は，Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。）



＊ 上記は説明のために作成したページのため，実際のページとは異なります。

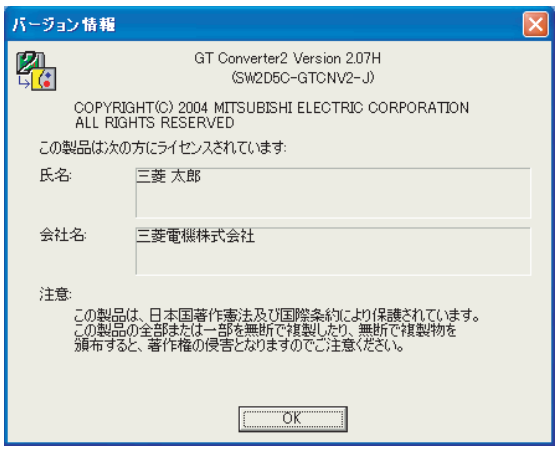
3 INDEX MENU 右下のアイコンをクリックすると，GOT1000/GOT900 シリーズのマニュアルに切り換わります。



（例： GOT900シリーズに変更する場合の画面）

3 GT Converter2 のバージョン確認手順（【バージョン情報】選択時）

1 1 の操作後，バージョン情報画面が表示されます。



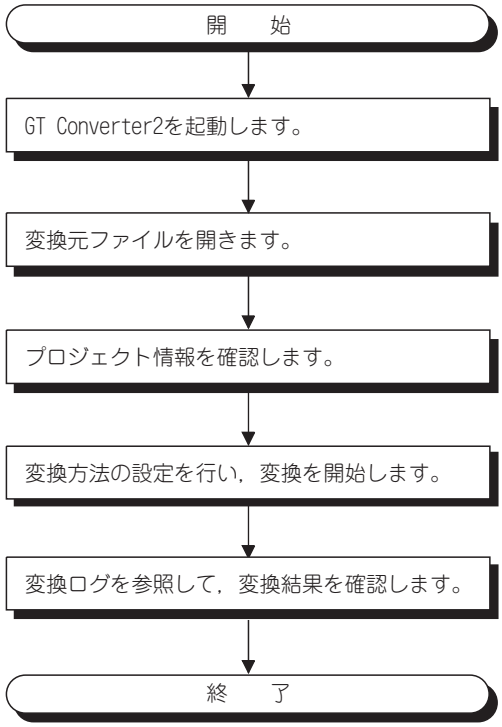
（例：バージョン2.07Hの場合）

項　目	内　容
GT Converter2	GT Converter2 のバージョンが表示されます。
氏名	GT Converter2 のインストール時に入力した名前が表示されます。
会社名	GT Converter2 のインストール時に入力した会社名が表示されます。
OK	バージョン情報画面を閉じます。

5章　GT Converter2の操作方法

5.1　操作手順

GT Converter2 の操作手順を下記に示します。



..... ☞ GT Designer2 Version □基本操作・データ転送マニュアル（2.4 節 各ソフトウェアの起動）

..... ☞ 5.2 節 変換元ファイルを開く

..... ☞ 5.2 節 変換元ファイルを開く

..... ☞ 5.3 節 変換を行う

..... ☞ 5.4 節 変換結果を確認する

備　考

A64GOT または A77GOT 用プロジェクトデータの流用

A64GOT または A77GOT 用のプロジェクトデータはまず SW3NIW-A8GOTP を使用して，GOT800 形式に変換してください。
GOT800 形式に変換したプロジェクトデータは，GT Converter2 を使用して GT Designer2 用のプロジェクトデータに変換することができます。
A64GOT または A77GOT 用プロジェクトデータから GOT800 形式への変換の詳細は，下記を参照してください。

☞ SW3NIW-A8GOTP 形作画設定ソフトウェアパッケージオペレーティングマニュアル（モニタ画面作成編）（IB-68913）（2.5 節　従来品 GOT データを流用するには？）

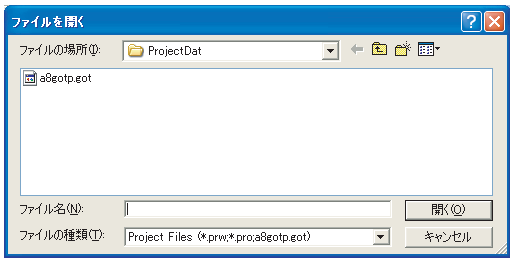
5.2　変換元ファイルを開く

変換元ファイルを開きます。

1 下記いずれかの操作を行うと，ダイアログボックスが表示されます。

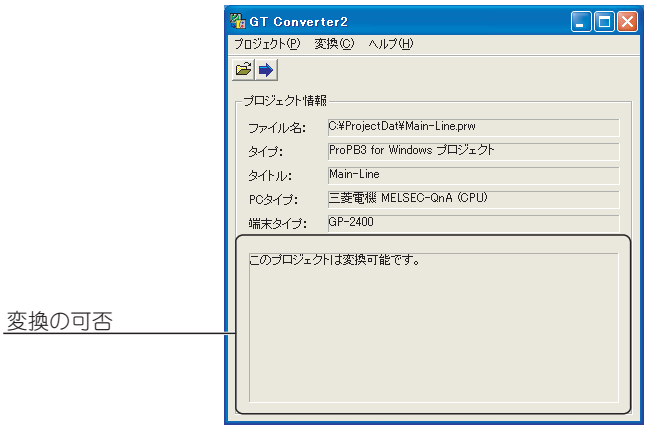
- (開く）をクリック
- 【プロジェクト】→【開く】メニューを選択

2 下記の設定を行い，開く ボタンをクリックして変換元ファイルを開きます。



項　　目	内　　容
ファイルの場所	変換元ファイルが保存されている場所を選択します。
ファイル名	変換元ファイル名を設定します。

③ 変換元ファイルを開くと，プロジェクト情報画面が表示されます。
プロジェクト情報画面には，変換元ファイルから取得したプロジェクト情報が表示されます。
プロジェクト情報の取得に失敗した項目は，“不明” が表示されます。



項　目	内　容
ファイル名	プロジェクトのファイル名を表示します。
タイプ	変換元ファイルを作成した作画ソフトの種類を表示します。 ProPB3 for Windows プロジェクト：変換元ファイルが下記ソフトウェアのプロジェクトファイルである場合に表示されます。 •GP-PRO/PB Ⅲ for Windows95 •GP-PRO/PB Ⅲ for Windows •GP-PRO/PB Ⅲ C-Package01 •GP-PRO/PB Ⅲ C-Package02 •GP-PRO/PB Ⅲ C-Package03 ProPB3 for DOS プロジェクト　：変換元ファイルが GP-PRO/PB Ⅲ（DOS 版）のプロジェクトファイルの場合に表示されます。 A8GOTP プロジェクト　：変換元ファイルが SW3NIW-A8GOTP のプロジェクトファイルの場合に表示されます。
タイトル	プロジェクトに設定されているコメント（GP-PRO/PB Ⅲシリーズの場合）／プロジェクトタイトル（SW3NIW-A8GOTP の場合）を表示します。
PC タイプ	プロジェクトに設定されている PC タイプを表示します。
端末タイプ	プロジェクトに設定されている GP タイプ（GP-PRO/PB Ⅲシリーズの場合）／GOT タイプ（SW3NIW-A8GOTP の場合）を表示します。
変換の可否	“このプロジェクトは変換可能です。” が表示された場合は，変換元ファイルは変換できます。 “このプロジェクトは変換できません。” が表示された場合（＊1）は，変換元ファイルは変換できません。

＊1 下記いずれかの場合に，“このプロジェクトは変換できません。” と表示されます。
・「タイプ」覧に “不明” が表示された場合
この場合は，作画ソフトで変換元プロジェクトファイルに異常がないか確認してください。
・「PC タイプ」覧に表示された PC タイプが，変換に対応していない PC タイプの場合（☞ 付 2.3 PC タイプ）

5.3 変換を行う

出力先フォルダの設定および変換方法の設定を行い，変換を開始します。

1 変換元ファイルを開いている状態（☞ 5.2 節 変換元ファイルを開く ）で下記いずれかの操作を行うと，変換設定画面が表示されます。

・（変換開始）をクリック

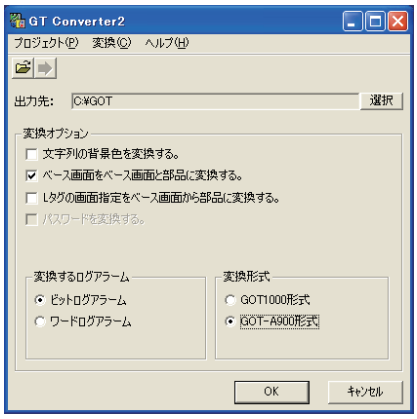
・【変換】→【開始】メニューを選択

2 変換設定画面で出力先フォルダの設定および変換方法の設定を行い，OKボタンをクリックして変換を開始すると，変換結果を示す変換ログが表示されます。（☞ 5.4 節 変換結果を確認する ）

変換中にキャンセルボタンをクリックすると変換を中止します。

出力先フォルダの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・☞ 5.3.1 項 出力先設定を行う

変換方法の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・☞ 5.3.2 項 変換オプション設定を行う



Point

(1) 変換後ファイルの種類について

変換後ファイルは，変換形式（☞ 5.3.2 項 変換オプション設定を行う ）の設定により変わります。

変換形式	ファイル名
GOT1000 形式	変換後は，下記 3 種類のファイルを出力します。 • “<filename>.g1” • “<filename>.g1d” • “Script￥Sc< 連番 >.txt” （フォルダ “Script” の中に出力します。） <filename> には，変換元プロジェクトファイルのファイル名が入ります。 例：“ 組立ライン .prw” ――（変換）―→ “ 組立ライン .g1” < 連番 > には，1 以上の連番が入ります。
GOT-A900 形式	変換後は，下記 8 種類のファイルを出力します。 • “A9GOTP.GOT” • “PARTS00.A9” • “BAS00001.A9” ～ “BAS08999.A9” • “WIN00001.A9” ～ “WIN08999.A9” • “COMMEN00.A9” • “PACKAGE.A9” • “GOTWAV00.A9” • “Script￥Sc< 連番 >.txt” （フォルダ “Script” の中に出力します。） < 連番 > には，1 以上の連番が入ります。 例：“ 組立ライン .prw” ――（変換）―→ “A9GOTP.GOT”

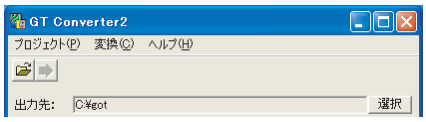
(2) 変換後ファイルの取扱いについて

変換後ファイルは，GT Designer2 で開くときに上記の全ファイルが必要です。ファイルを操作（コピー／移動／削除）する場合は，上記の全ファイルを一緒に操作してください。

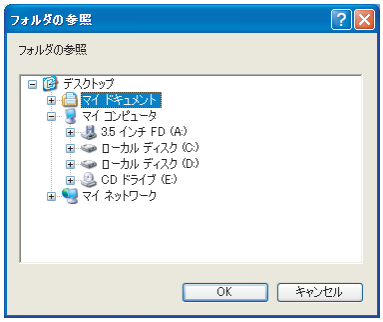
5.3.1 出力先設定を行う

変換設定画面で出力先フォルダの設定を行います。
出力先フォルダには，変換後に変換後ファイルと変換ログが保存されます。

1 変換設定画面で「出力先：」の[選択]ボタンをクリックすると，フォルダの参照画面が表示されます。



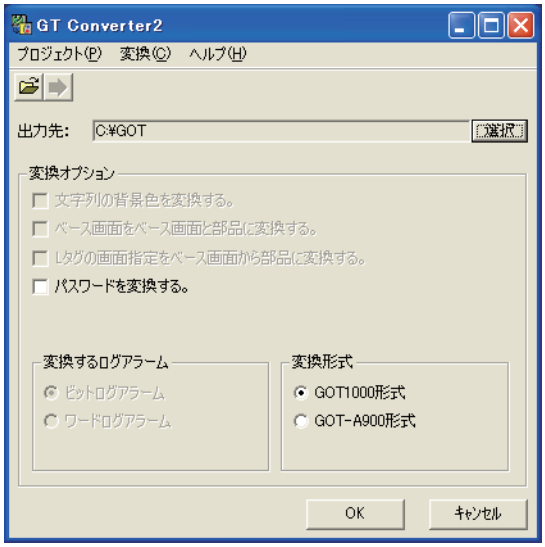
2 フォルダの参照画面で出力先のフォルダを選択し，[OK]ボタンをクリックします。



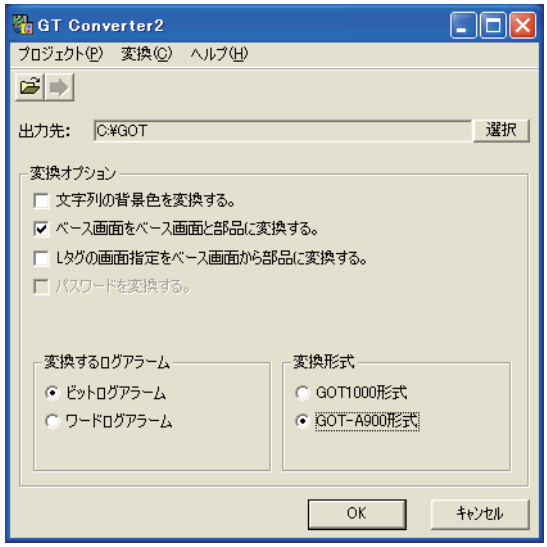
5.3.2　変換オプション設定を行う

変換設定画面で変換方法の設定を行います。

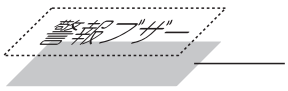
(1) 下記の設定を行います。



(GOT800 シリーズ用プロジェクトデータを変換する場合)



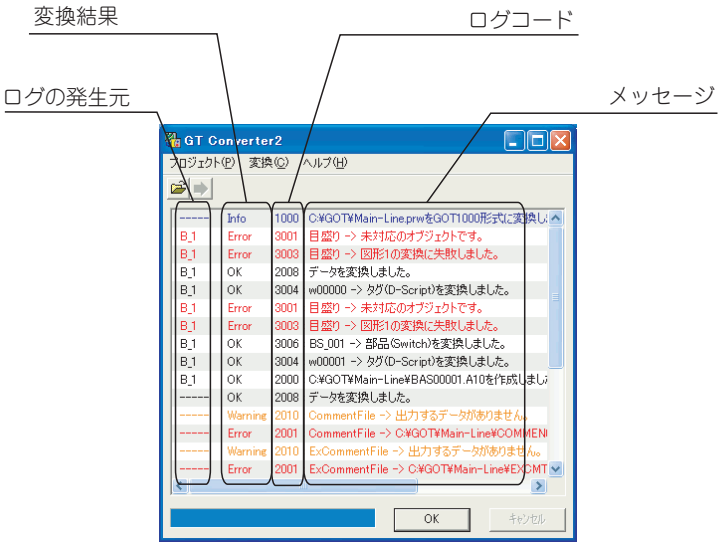
(GP-PRO ／ PB Ⅲシリーズ用プロジェクトデータを変換する場合)

項　目	内　容	変換元ファイル形式		
		ProPB/ Win	ProPB/ DOS	GOT800
文字列の背景色を変換する。	チェックすると，背景色で塗りつぶした長方形を，文字列の背面に配置した状態に変換します。 (「変換形式」で「GOT-A900」形式を選択した場合のみ使用可能)  チェックすると，この四角形を挿入します。 GOT1000 シリーズの場合，本設定項目に関係なく文字列の背景色を変換します。	○	○	×
ベース画面をベース画面と部品に変換する。	チェックすると，変換元ファイルのベース画面を，ベース画面および部品に変換します。 この場合，変換元ファイルのベース画面上に配置された描画情報のみを，部品に変換します。 チェックしない場合は，ベース画面のみへ変換します。	○	×	×
L タグの画面設定をベース画面から部品に変換する。	L タグを部品表示に変換する際に，部品表示を行う部品の種類を設定します。 チェックすると，部品に設定します。 チェックしない場合は，ベース画面に設定します。 本項目は，上記「ベース画面をベース画面と部品に変換する。」にチェックした場合に操作できます。	○	×	×
パスワードを変換する。	チェックすると，変換元ファイルのパスワード設定を「データ転送／ユーティリティ起動」のパスワードに変換します。	×	×	○
変換するログアラーム	変換するログアラームを選択します。 選択していないログアラームは，変換しません。	○	○	×
変換形式	“GOT1000 Binary Files(*.G1)” に変換する場合は，GOT1000 形式を選択してください。 “GT Designer Files(A9GOTP.GOT)” に変換する場合は，GOT-A900 形式を選択してください。	○	○	○

○：設定可能，×：設定不可

5.4 変換結果を確認する

変換ログ（☞ 5.4.1 項 変換ログ一覧 ）を参照して，変換結果を確認します。
変換ログは，変換時に画面へ表示してテキストファイルへ保存されます。



項　目	内　容
ログの発生元	変換元を表示します。（☞ 本節 1 ログの発生元一覧）
変換結果	OK　：正常に変換できたことを示します。 Warning　：警告があることを示します。 Error　：変換に失敗したことを示します。 Info　：上記以外の情報があることを示します。
ログコード	ログコードを表示します。
メッセージ	変換元オブジェクト（☞ 本節 2 変換元オブジェクト一覧）と，メッセージ（☞ 5.4.1 項 変換ログ一覧）が表示されます。 変換元オブジェクトは，図形，タグおよび部品を変換している場合のみ表示されます。
OK ボタン	プロジェクト情報画面に戻ります。（☞ 5.2 節 変換元ファイルを開く 3 ）
キャンセル ボタン	変換を中断します。

Point

変換ログのテキストファイルについて

変換ログのテキストファイルは，変換中は閉じたままで開かないでください。
開いていると，変換ログをテキストファイルに保存できません。

備　考

変換ログの保存先フォルダおよびファイル名

変換ログの保存先フォルダは，変換後ファイルの出力先フォルダと同じです。

☞ 5.3.1 項 出力先設定を行う

変換ログのファイル名は，変換元ファイルのファイル名に対して，拡張子を“.txt” に変更したファイル名になります。
例：“組立ライン .prw” ――（変換）―→ “組立ライン .txt”

1 ログの発生元一覧

ログの発生元の一覧を下記に示します。

表示	変換元
B_＜番号＞	ベース画面
U_＜番号＞	ウィンドウ画面
K_＜番号＞	キーボード画面
T_＜番号＞	折れ線グラフ画面
I_＜番号＞	イメージ画面
X_＜番号＞	テキスト画面
O_＜番号＞	サウンド
A_＜番号＞	アラームサマリ
Q_＜番号＞	ログアラーム
W_＜番号＞	文字列テーブル
F_＜番号＞	ファイリングデータ
-----	その他

2 変換元オブジェクト一覧

変換元オブジェクトの一覧を下記に示します。

表　示	変換元
直線，連続直線，長方形，円，楕円，円弧，円扇，塗り込み，多角形，目盛り，文字列，ドット，ビットマップ	図形を変換している場合に図形の種類が表示されます。
上記以外	タグ ID または部品 ID が表示されます。 GP-PRO/PB Ⅲシリーズの編集画面で表示される内容と同じです。

5.4.1 変換ログ一覧

変換ログおよび対処方法の一覧を下記に示します。

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
1000	< ファイル名 > を < 出力形式 > 形式に変換します。	Info	―――
1001	変換が終了しました。	Info	―――
1002	変換が中断されました。	Error	変換中に キャンセル ボタンを押さずに変換する。
1003	変換に失敗しました。	Error	本エラーの前に発生したエラーの処置方法を行う。
1004	変換中に例外 (< 例外コード >) が発生しました。	Error	変換後に GT Designer2 で，エラーの発生した画面を修正する。
1005	G1 ファイルを作成しました。	OK	―――
1006	G1 ファイルの作成に失敗しました。	Error	変換前に下記の処置を行う。 • 起動している他のアプリケーションを終了する。 • WindowsNT® Workstation4.0，Windows® 2000 Professional，Windows® XP，Windows Vista® を使用している場合は，Administrator（コンピュータ管理者）の権限を持つユーザで変換を行う。 • 出力先を変更する。 • Microsoft® Windows® を再起動する。
1007	ファイルの読込みに失敗しました。	Error	変換前に下記の処置を行う。 • 起動している他のアプリケーションを終了する。 • WindowsNT® Workstation4.0，Windows® 2000 Professional，Windows® XP，Windows Vista® を使用している場合は，Administrator（コンピュータ管理者）の権限を持つユーザで変換を行う。 • 出力先を変更する。 • Microsoft® Windows® を再起動する。
1008	一時ディレクトリの作成に失敗しました。	Error	変換前に下記の処置を行う。 • GT Converter2 を再起動する。 • 起動している他のアプリケーションを終了する。 • WindowsNT® Workstation4.0，Windows® 2000 Professional，Windows® XP，Windows Vista® を使用している場合は，Administrator（コンピュータ管理者）の権限を持つユーザで変換を行う。 • 出力先を変更する。 • Microsoft® Windows® を再起動する。
2000	< 出力ファイル名 > を作成しました。	OK	―――
2001	< 出力ファイル名 > の作成に失敗しました。	Error	本エラーの前に発生したエラーの処置方法を行う。
2002	デバイスの変換に失敗しました。	Warning	変換後に GT Designer2 でエラーの発生したオブジェクトのデバイスを設定し直す。
2003	LS エリアの変換に失敗しました。	Warning	変換後に GT Designer2 でエラーの発生したオブジェクトのデバイスを設定し直す。
2004	データの登録数が上限 (< 上限数 >) を超えました。	Error	変換前に作画ソフトで，本エラーの発生したデータを上限以下に設定し直す。
2005	データの開始コードが不正です。	Error	変換後に GT Designer2 で，手動で変換を行う。
2006	オプションによりこのログアラームは変換しません。	Warning	変換後に GT Designer2 で，変換を行わなかったログアラームを手動で設定する。
2007	文字列が最大長 (< 文字列長 >) を超えました。	Warning	変換前に作画ソフトで，図形文字列の文字数が最大文字数以下となるように修正する。
2008	データを変換しました。	OK	―――

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
2009	データの変換に失敗しました。	Error	本エラーの前に発生したエラーの処置方法を行う。
2010	出力するデータがありません。	Warning	処置の必要なし。
3000	画面からはみ出ています。	Error	変換前に作画ソフトで，本エラーの発生したオブジェクトを画面からはみ出ない位置に配置し直す。
3001	未対応のオブジェクトです。	Error	変換後に GT Designer2 で，本エラーの発生したオブジェクトの代替オブジェクトを作成する。手動で代替オブジェクトを作成する。
3002	図形＜図形番号＞を変換しました。	OK	―――
3003	図形＜図形番号＞の変換に失敗しました。	Error	本エラーの前に発生したエラーの処置方法を行う。
3004	タグ（＜タグ名称＞）を変換しました。	OK	―――
3005	タグ（＜タグ名称＞）の変換に失敗しました。	Error	本エラーの前に発生したエラーの処置方法を行う。
3006	部品（＜部品名称＞）を変換しました。	OK	―――
3007	部品（＜部品名称＞）の変換に失敗しました。	Error	本エラーの前に発生したエラーの処置方法を行う。
4000	CF カードからの呼び出しには対応していません。	Error	変換前に作画ソフトで，オブジェクトの設定を CF カード以外に変更する。
4001	警報範囲の間接指定は変換できません。	Error	変換前に作画ソフトで，オブジェクトの警報設定を直接指定に変更する。
4002	色の間接指定には対応していません。	Warning	変換前に作画ソフトで，オブジェクトの色設定を直接指定に変更する。
4003	MSB 符号には対応していません。	Error	変換前に作画ソフトで，オブジェクトの入力符号を MSB 符号以外に変更する。
4004	色積みは変換できません。	Error	変換前に作画ソフトで，オブジェクトの色積み設定を解除する。
4005	回転したタグは変換できません。	Error	変換前に作画ソフトで，タグの角度を 0 度に設定する。
4006	データが圧縮してあります。	Error	変換前に作画ソフトで，圧縮を解除する。
4007	頂点の数が上限を超えました。	Warning	変換前に作画ソフトで，図形の頂点数を 1000 点以下に修正する。
4008	属性の読み取りに失敗しました。	Error	変換後に GT Designer2 で，本エラーの発生したオブジェクトの代替オブジェクトを作成する。
4009	テキスト画面番号の変換に失敗しました。	Warning	テキスト画面の全行数を 12000 以下に修正する。
4010	文字列の行間が上限を超えました。	Warning	変換後に GT Designer2 で，文字列図形の配置を修正する。
4011	矢印属性は変換できません。	Warning	変換後に GT Designer2 で，直線図形などを使って矢印を書き込む。
4012	部品図形内の BMP イメージは変換できません。	Error	変換後に GT Designer2 で，BMP イメージを部品に登録する。
5000	スクリプトの文法に問題があります。	Error	変換前に作画ソフトで，スクリプトの文法エラーを修正する。
5001	スクリプトトリガの変換に失敗しました。	Error	変換後に GT Designer2 で，トリガを手動で設定する。
5002	非サポートの命令で構成された動作式は変換できません。	Error	変換前に作画ソフトで，GT Converter2 が変換できない命令を取り除く。
5003	未対応の特殊リレーは、GD デバイスに変換されます。	Warning	変換後に GT Designer2 で，置き換えられた個所の GD デバイスを適切なデバイスに設定する。
-	（変換時間 ＜秒数＞秒）	Info	―――
-	＞結果表示用ファイルを初期化しました	Info	―――
-	＞同一画面に 2 つ以上アラーム履歴スプライトを配置できません	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	XXX PRO ファイル読み込み中にエラーが発生しました XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX ディスクの空き容量が不足しています XXX	Info	
-	XXX パッケージ情報ファイル生成中にエラーが発生しました XXX	Info	
-	XXX プロジェクト・インデックス作成中にエラーが発生しました XXX	Info	
-	XXX 画面インデックス作成中にエラーが発生しました XXX	Info	
-	XXX 結果表示用ファイルにデータを書き込めませんでした XXX	Info	
-	XXX 初期化処理に失敗しました XXX	Info	
-	XXX 全画面共通ファイル生成中にエラーが発生しました XXX	Info	
-	XXX 描画に関連しない画面の変換中にエラーが発生しました XXX	Info	
-	XXX 変換終了ファイルがオープンできません XXX	Info	
-	XXX 変換終了ファイルにフラグを書き込めませんでした XXX	Info	
-	XXX 変換終了ファイルへのデータ書込み失敗 XXX	Info	
-	＞機能部 A を起動します（funcA_main.exe 5.60.00	Info	―――
-	□□□ スプライトデータを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ スプライト図形データを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 画面インデックス作成します □□□	Info	―――
-	□□□ 図形データを変換します □□□	Info	―――
-	■■■－ プロジェクト・インデックス作成フェイズ －■■■	Info	―――
-	■■■－－ パッケージ情報ファイル作成フェイズ －－■■■	Info	―――
-	■■■－－ 全画面共通設定ファイル作成フェイズ －－■■■	Info	―――
-	■■■－－ 描画に関連しない画面の変換フェイズ －－■■■	Info	―――
-	■■■－－ 描画に関連する画面の変換フェイズ －－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－ テンポラリファイル結合フェイズ －－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－ PRO ファイル読み込みフェイズ －－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－－－－－－ 初期化処理 －－－－－－－－－■■■	Info	―――
-	B 画面 No< 画面番号 > 変換開始	Info	―――
-	B 画面 No< 画面番号 > 変換終了	Info	―――
-	タグ ：A タグをアラームリスト・ユーザラームに変換	Info	―――
-	タグ ：C タグを時計表示に変換	Info	―――

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	タグ　：K タグを数値入力に変換	Info	―――
-	タグ　：N タグを数値表示に変換	Info	―――
-	タグ　：Q タグをアラーム履歴に変換	Info	―――
-	タグ　：a タグをアラームリスト・ユーザアラームに変換	Info	―――
-	デバイスの変換に失敗しました	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	ファイルのオープンに失敗しました。	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	ファイルサイズの取得に失敗しました。	Info	
-	メモリを確保できませんでした	Info	
-	画面呼び出し ＜レイヤー名＞ 層 ＜階層番号＞ 番目	Info	―――
-	現在時刻（hh/mm/ss）＜時刻＞	Info	―――
-	現在時刻（hh/mm/ss）＜時刻＞	Info	―――
-	図形　：円を変換	Info	―――
-	図形　：四角形を変換	Info	―――
-	図形　：扇形を変換（直線と円弧に変換）	Info	―――
-	図形　：楕円を変換	Info	―――
-	図形　：直線を変換	Info	―――
-	図形　：塗り込みは変換対象外です	Info	―――
-	図形　：塗り込み多角形を変換（塗り込みなし多角形に変換）	Info	―――
-	図形　：文字列を変換	Info	―――
-	図形　：目盛りを変換（複数の直線に変換）	Info	―――
-	図形の 1 部または全部が画面外に設定されています	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	成功	Info	―――
-	日付　（mm/dd/yy）＜日付＞	Info	―――
-	部品　：ランプを変換	Info	―――
-	部品　：数値表示を変換	Info	―――
-	部品　：日付を変換	Info	―――
-	変換後ファイルサイズ ＝ ＜サイズ＞ byte	Info	―――
-	変換対象外のタグです（＜座標＞,＜座標＞ - ＜座標＞,＜座標＞）	Info	―――
-	変換対象外の部品です（＜座標＞,＜座標＞ - ＜座標＞,＜座標＞）	Info	―――
-	□□ アラーム履歴データを登録します　□□	Info	―――
-	□□ メモリ保存付きスプライト情報を登録します　□□	Info	―――
-	＜ファイル名＞ファイルが開けません	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	（変換時間 ＜時間＞秒）	Info	―――
-	*** SW1 版の変換には対応していません	Info	変換前に SW3NIW-A8GOTP で，プロジェクトデータを GOT800 形式に変換してください。

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	*** ファイル情報取得中・・・	Info	―――
-	>M0 デバイスに変換します.	Info	―――
-	> ファイル名の文字数が最大値（12 文字）を超えています	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	> ワードのビット指定で設定されている Z デバイスを発見しました.	Info	―――
-	> 画面タイトルの文字数が最大値（32 文字）を超えています	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	> 結果表示用ファイルを初期化しました	Info	―――
-	A8GOTP,got 変換開始	Info	―――
-	A8GOTP.got 変換終了	Info	―――
-	A8GOTP.got の変換は行われませんでした	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	Comment.a8 変換開始	Info	―――
-	Comment.a8 変換終了	Info	―――
-	Hqfont.a8 変換開始	Info	―――
-	Hqfont.a8 変換終了	Info	―――
-	Hqfont.a8 の変換は行われませんでした	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	PACKAGE.A8 の変換は行われませんでした	Info	
-	Package.a8 変換開始	Info	―――
-	Package.a8 変換終了	Info	―――
-	Parts.a8 の変換は行われませんでした	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	Parts.a8 変換開始	Info	―――
-	Parts.a8 変換終了	Info	―――
-	Warning!! デバイス種類が多すぎます	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	Warning!! 該当する色データが見当たりません	Info	
-	XXX < ファイル名 > ファイルが開けません XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX PACKAGE.A9 ファイルへのデータ書込み失敗 XXX	Info	
-	XXX PC タイプが異なります XXX	Info	変換前に作画ソフトで，GT Converter2 が変換できる PC タイプに変更する。
-	XXX このスプライトの変換は行われませんでした XXX	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	XXX ディスクの空き容量が不足しています XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX デバイス番号を再確認してください XXX	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	XXX バッファへの書込みに失敗しました XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX ファイルがオープンできません XXX	Info	
-	XXX ファイルのオープンに失敗しました XXX	Info	
-	XXX プロジェクトインデックスの作成に失敗しました XXX	Info	
-	XXX メモリが不足しています XXX	Info	

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	XXX ワークエリアの確保に失敗しました XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX 結果表示用ファイルにデータを書き込めませんでした XXX	Info	
-	XXX 行方向情報の取得に失敗しました XXX	Info	
-	XXX 失敗 XXX	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	XXX 失敗 XXX (＜座標＞,＜座標＞ - ＜座標＞,＜座標＞)	Info	
-	XXX 初期化処理に失敗しました XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX 不正に設定されているデバイスを発見しました XXX	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	XXX 変換終了ファイルがオープンできません XXX	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	XXX 変換終了ファイルにフラグを書き込めませんでした XXX	Info	
-	XXX 変換終了ファイルへのデータ書込み失敗 XXX	Info	
-	XXX 保存先に書込みができません XXX	Info	
-	XXX 列方向情報の取得に失敗しました XXX	Info	
-	XXX 連続デバイスインデックステーブルの確保に失敗しました XXX	Info	
-	××× GOT タイプの変換に失敗しました ×××	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	××× Hqfont.a9 ファイルへのデータ書込み失敗 ×××	Info	
-	××× PC タイプの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× TMP ファイルのマージに失敗しました ×××	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	××× その他の項目の変換に失敗しました ×××	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	××× アラーム履歴データの登録に失敗しました ×××	Info	
-	××× システム情報の変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× スプライト図形データの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× デバイスデータの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× デバイス設定配列の変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× ハードコピー設定の変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× バーコードの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× パスワードの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× パッケージ情報の変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× ファイルのマージに失敗しました ×××	Info	
-	××× ファイルのマージに失敗しました ×××	Info	
-	××× ヘッダの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× ヘッダの変換に失敗しました ×××	Info	

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	××× メモリ保存付きスプライト情報の登録に失敗しました ×××	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	××× モニタ設定データの登録に失敗しました ×××	Info	
-	××× レポート共通設定データの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× ロギングデータの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 印字データの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 印字フォーマットの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 画面／局番切り替えの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 画面共通項目の変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 詳細コメントの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 状態監視の変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 図形・スプライトデータの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 全画面共通設定ファイルのヘッダの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 操作パネルの変換に失敗しました ×××	Info	
-	××× 部品データの変換に失敗しました ×××	Info	
-	>機能部 B を起動します	Info	―――
-	>全ての変換処理が終了しました	Info	―――
-	□□□ GOT タイプを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ PC タイプを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ TMP ファイルをマージします □□□	Info	―――
-	□□□ その他の項目を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ システム情報を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ スプライト図形データを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ デバイスデータを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ デバイス設定配列を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ ハードコピー設定を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ バーコードを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ パスワードを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ パッケージ情報を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ ヘッダを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ モニタ設定データを登録します □□□	Info	―――
-	□□□ レポート共通設定データを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ ロギングデータを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 印字データを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 印字フォーマットを変換します（ダミー） □□□	Info	―――
-	□□□ 画面／局番切り替えを変換します □□□	Info	―――

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	□□□ 画面共通項目を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 詳細コメントを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 状態監視を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 図形・スプライトデータを変換します □□□	Info	―――
-	□□□全画面共通設定ファイルのヘッダ部を変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 操作パネルを変換します □□□	Info	―――
-	□□□ 部品データを変換します □□□	Info	―――
-	△△△変換オプションによりパスワードを変換しません △△△	Info	パスワードを変換する場合，変換オプション設定で「パスワードを変換する」にチェックしてください。 (☞5.3.2 項 変換オプション設定を行う)
-	■■■－ プロジェクトインデックステーブルの作成 －■■■	Info	―――
-	■■■－－－ パッケージ情報ファイル変換 －－－－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－ ベース／ウインドウファイル変換 －－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－ レポート設定ファイル変換 －－－－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－ 全画面共通設定ファイル変換 －－－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－－ コメントファイル変換 －－－－－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－－ 高品位文字ファイル変換 －－－－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－－－ 部品ファイル変換 －－－－－－－■■■	Info	―――
-	■■■－－－－－－－－ 初期化処理 －－－－－－－－■■■	Info	―――
-	オフセット TMP ファイルにデータがありません	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	サイズをデフォルトにしました。	Info	―――
-	スプライトコードエラー	Info	変換前に作画ソフトで，GT Converter2 が変換できない命令を取り除く。
-	デフォルト値のファイルを作成します。	Info	―――
-	バッファの確保に失敗しました	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	バッファへの書込みに失敗しました	Info	
-	ファイルがオープンできません	Info	
-	ファイルのオープンに失敗しました。	Info	
-	ファイルの書込みに失敗しました。	Info	
-	ファイルへのデータ書込み失敗	Info	
-	ファイルオープン失敗	Info	
-	ファイルサイズが０です	Info	
-	ファイルサイズが取得できません	Info	

(次のページにつづく)

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	ファイルサイズの取得に失敗しました	Info	変換前に下記の処置を行う。 ・起動している他のアプリケーションを終了する。 ・Microsoft® Windows® を再起動する。
-	ファイルサイズの取得に失敗しました。	Info	
-	メモリが足りません。	Info	
-	メモリが不足しています	Info	
-	レポート形式をロギング改頁に変更しました。	Info	―――
-	基本図形をライブラリに変換しました 座標（＜座標＞，＜座標＞－＜座標＞，＜座標＞）	Info	―――
-	現在時刻（hh/mm/ss）＜時刻＞	Info	―――
-	現在時刻（hh/mm/ss）＜時刻＞	Info	―――
-	図形 ：グループ化情報を変換	Info	―――
-	図形 ：ビットマップを変換	Info	―――
-	図形 ：円・楕円を変換	Info	―――
-	図形 ：円弧・楕円弧を変換	Info	―――
-	図形 ：扇形を変換	Info	―――
-	図形 ：多角形を変換	Info	―――
-	図形 ：長方形を変換	Info	―――
-	図形 ：直線を変換	Info	―――
-	図形 ：塗り込みを変換	Info	―――
-	図形 ：文字列を変換	Info	―――
-	図形 ：連続直線を変換	Info	―――
-	図形コードエラー	Info	変換前に作画ソフトで，GT Converter2 が変換できない図形を取り除く。
-	成功	Info	―――
-	日付 （mm/dd/yy）＜日付＞	Info	―――
-	文字列が設定されていません	Info	変換後に GT Designer2 で，メッセージが表示されたデータを修正する。
-	変換後ファイルサイズ ＝ ＜サイズ＞ byte	Info	―――
-	変換前ファイルサイズ ＝ ＜サイズ＞ byte	Info	―――
-	スプライト：アスキー入力を変換	Info	―――
-	スプライト：アスキー表示を変換	Info	―――
-	スプライト：アラーム履歴表示を変換	Info	―――
-	スプライト：コメント表示を変換	Info	―――
-	スプライト：システムアラーム表示を変換	Info	―――
-	スプライト：タッチキー設定を変換	Info	―――
-	スプライト：データリスト表示を変換	Info	―――
-	スプライト：トレンドグラフ表示を変換	Info	―――
-	スプライト：パネルメータ表示を変換	Info	―――
-	スプライト：ユーザラームリスト表示を変換	Info	―――
-	スプライト：ランプ表示を変換	Info	―――
-	スプライト：レベル表示を変換	Info	―――
-	スプライト：時計表示を変換	Info	―――
-	スプライト：数値入力を変換	Info	―――
-	スプライト：数値表示を変換	Info	―――

（次のページにつづく）

ログコード	メッセージ	変換結果	処置方法
-	スプライト：折れ線グラフ表示を変換	Info	―――
-	スプライト：部品移動を変換	Info	―――
-	スプライト：部品表示を変換	Info	―――
-	スプライト：棒グラフ表示を変換	Info	―――

5.5 GT Converter2 を終了する

GT Converter2 を終了します。

1 下記いずれかの操作を行うと，GT Converter2 を終了します。

- 【プロジェクト】→【終了】メニューを選択
- タイトルバーのをクリック

付　　録

付 1　GOT800 シリーズの変換仕様

GOT800 シリーズ用プロジェクトデータの変換仕様を説明します。

Point

変換時の注意事項

GT Converter2 は，GOT1000 シリーズや GOT-A900 シリーズ用プロジェクトデータへの変換をすべて保証するものではありません。
変換したプロジェクトデータを GOT へダウンロードする前に，必ず GT Designer2 で設定内容を確認し，必要に応じて修正を行ってください。
なお，変換後の GOT が対応していない機能は変換しません。

本付録で変換可能と記載している項目であっても，プロジェクトの設定により変換できない場合があります。
この場合は，変換できない理由を変換ログに出力します。

☞ 5.4 節 変換結果を確認する

付 1.1　図形の変換仕様

すべての図形が変換可能です。

付 1.2　スプライトの変換仕様

1 制約事項

スプライトの変換に関する制約事項を下記に示します。

(1) 表示形式の属性が変更できない図形

ランプ表示，またはタッチスイッチを変換時，下記の基本図形はライブラリに変換します。

・LAMP 9　　・LAMP 10　　・LAMP 11
・LAMP 12　　・LAMP 22　　・SWITCH 34 ON
・SWITCH 34 OFF　　・SWITCH 45 ON　　・SWITCH 45 OFF

ライブラリに変換された図形は，GT Designer2 では表示形式の属性（「枠色」，「ランプ色」，「スイッチ色」，「背景色」，「パターン」）を変更できません。

表示形式の属性を変更したい場合，表示形式の「図形」を，基本図形のものに変更してください。

2 変換仕様

スプライトの変換仕様を下記に示します。

項　　目	変換可否	備　　考
数値表示	○	―――
アスキー表示	○	―――
時計表示	○	―――
コメント表示	○	―――
システムアラームリスト表示	○	―――
ユーザアラームリスト表示	○	―――
部品表示	○	「表示モード」を「XOR」に設定している場合，下記の通り変換します。 • GOT1000 形式の場合 「補助設定」の「部品表示の描画モードが XOR の場合，グループ化した図形を一度で XOR 表示する」が設定されます。 • GOT-A900 形式の場合 GOT800 互換モードダイアログボックスの「部品表示 XOR 表示変更を有効」が設定されます。
部品移動	○	―――
ランプ表示	○	―――
パネルメータ表示	○	―――
レベル表示	○	―――
トレンドグラフ表示	○	―――
折れ線グラフ表示	○	―――
棒グラフ表示	○	―――
タッチスイッチ	○	―――
数値入力	○	―――
アスキー入力	○	―――
ウィンドウ表示位置	○	―――
データリスト表示	○	―――
アラーム履歴表示	○	―――

○：変換可能，×：変換不可

付 2 GP-PRO/PB Ⅲシリーズの変換仕様

GP-PRO/PB Ⅲシリーズ用プロジェクトデータの変換仕様を説明します。
（本付録の変換仕様は，主な項目の変換仕様のみを記載しています。）

Point **変換時の注意事項**

GT Converter2 は，GOT1000 シリーズや GOT-A900 シリーズ用プロジェクトデータへの変換をすべて保証するものではありません。
変換したプロジェクトデータを GOT へダウンロードする前に，必ず GT Designer2 で設定内容を確認し，必要に応じて修正を行ってください。
なお，変換後の GOT が対応していない機能は変換しません。

変換仕様は，GT Converter2 が対応している GP-PRO/PB Ⅲシリーズの全バージョンで同一仕様です。
プロジェクトデータを作成した GP-PRO/PB Ⅲシリーズのバージョンによる区別がありません。

本付録で変換可能と記載している項目であっても，プロジェクトの設定により変換できない場合があります。
この場合は，変換できない理由を変換ログに出力します。

☞ 5.4 節 変換結果を確認する

付 2.1 プロジェクトデータの変換仕様

1 プロジェクトデータの制約事項

プロジェクトデータの変換に関する制約事項を下記に示します。

(a) メモリカードに関する設定項目は，変換しません。

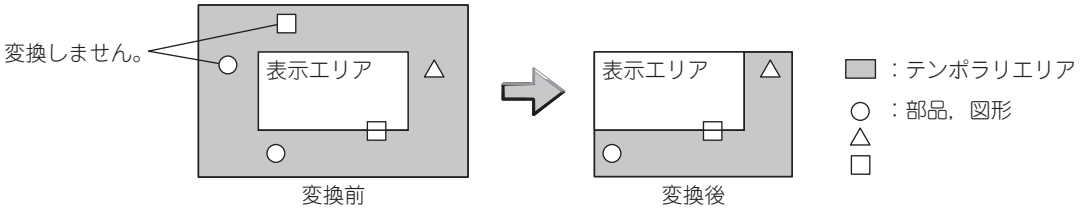
(b) 文字列テーブルのコントロールアドレスに割り当てられているデバイスは，GOT1000 形式の場合のみ言語切換えデバイスに変換します。
GOT-A900 形式の場合は変換しません。

(c) 変換時に変換オプションの「L タグの画面指定をベース画面から部品に変換する」を選択している場合，L タグが参照しているベース画面の描画情報を部品に変換します。

☞ 5.3.2 項 変換オプション設定を行う

(d) マーク画面は変換しませんが，GT Designer2 の部品がマーク画面と同様の機能を持っています。マーク画面の画像が必要な場合は，変換後に GT Designer2 の部品で作り直してください。

(e) 表示エリアの上側，左側からはみ出している部品や図形は，変換しません。
変換前に，部品や図形がはみ出していないか確認してください。



2 GP システムの設定の変換仕様

(1) 制約事項

初期画面設定の初期画面番号は変換しません。

Hint!

初期画面設定の初期画面番号と同様の機能を，GOT で再現する方法

初期画面番号と同様の機能を GOT で再現するには，プロジェクトスクリプトまたはラダープログラムにより，GOT 起動時に初期画面番号と同じ画面を開くように設定してください。

(1)プロジェクトスクリプトで GOT 起動時に初期画面（画面番号 2）の画面を開く場合の設定例

GT Designer2 の設定

- ベース画面の切り換えデバイス　　GD100

スクリプトの設定例

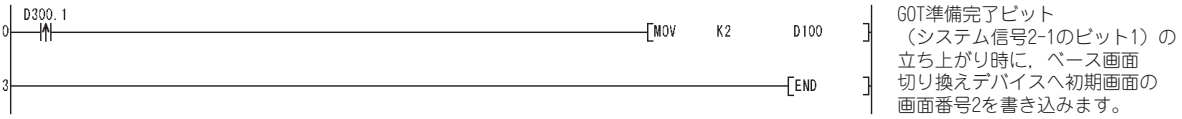
項　目	内　容	
データ形式	符号なし BIN16	
トリガ種別	立上り	
トリガデバイス	GS0.b4	
スクリプト	[w:GD100] = 2;	// ベース画面の切り換えデバイスへ // 初期画面の画面番号 2 を書き込む。

(2)ラダープログラムで GOT 起動時に初期画面（画面番号 2）を開く場合のプログラム例

GT Designer2 の設定

- ベース画面の切り換えデバイス　　D100
- システム信号 2-1　　D300

プログラム例



3 アラームデータの変換仕様

(1) 制約事項

アラームデータの変換に関する制約事項を下記に示します。

(a) ビットログアラーム設定およびワードログアラーム設定は，変換時に選択したログアラームだけを変換します。

☞ 5.3.2 項 変換オプション設定を行う

(b) 文字の背景色は変換しません。
変換後の文字は，背景色のない状態になります。

(c) コメント番号は，変換時に前詰めしません。
変換前に空き番号だった位置は，変換後も空き番号となります。

(2) アラームデータの変換仕様

アラームデータの変換仕様を下記に示します。

アラームデータの項目	変換可否	変換先の項目＊1	備　考
アラームメッセージ	○	基本コメント，コメントグループ／拡張アラームポップアップ表示	変換先のコメント番号は下記を参照してください。 ☞ 付 2.1 7 基本コメントおよびコメントグループの変換対応
アラームサマリ設定	○	基本コメント，コメントグループ	
ビットログアラーム設定	○	基本コメント／共通設定（アラーム履歴）	
ワードログアラーム設定	○	基本コメント／共通設定（アラーム履歴）	

○：変換可能，×：変換不可

＊1 拡張アラームポップアップ表示，コメントグループは，GOT1000 シリーズのみ変換します。

4 ファイリング設定の変換仕様

(1) 制約事項

メモリカードに関する設定項目は，変換しません。

5 文字列テーブルの変換仕様

(1) 制約事項

文字列テーブルの変換に関する制約事項を下記に示します。

(a) GOT1000 形式に変換する場合は，文字列テーブルの 1 ～ 10 番を基本コメントおよびコメントグループに変換し，文字列テーブルの 11 番以降は変換しません。

(b) 言語切換えを利用する場合は，GOT1000 形式に変換し，GT Designer2 上で文字列を表示するオブジェクトを言語切換えに対応したオブジェクト（例：コメント表示，拡張ユーザアラーム，拡張システムアラーム）に修正してください。
上記オブジェクトの修正を行わないと，言語切換えができません。

(c) GOT-A900 形式に変換すると，言語切換えはできなくなります。
言語切換えを利用する場合は，上記 (b) を参照してください。

(d) GOT-A900 形式に変換する場合は，文字列テーブルの 1 番のみを基本コメントに変換し，文字列テーブルの 2 番以降は変換しません。

(e) 文字列テーブルの各文字列は，512 文字までを変換して 513 文字以降は削除します。

(f) 文字の背景色は変換しません。
変換後の文字は，背景色のない状態になります。

(g) コメント番号は，変換時に前詰めしません。
変換前に空き番号だった位置は，変換後も空き番号となります。

(2) 文字列テーブルの変換仕様

文字列テーブルの変換仕様を下記に示します。

文字列テーブルの項目	変換可否	変換先の項目	備　考
文字列テーブルの設定	○	基本コメント，コメントグループ	変換先のコメント番号は下記を参照してください。 ☞ 付 2.1 7 基本コメントおよびコメントグループの変換対応

○：変換可能，×：変換不可

6 画面種類の変換仕様

(1) 制約事項

画面種類の変換に関する制約事項を下記に示します。

(a) テキスト画面の文字列は，画面番号順に 12767 行目までを変換します。
12768 行目以降は変換しません。

(b) テキスト画面の文字の背景色は変換しません。
変換後の文字は，背景色のない状態になります。

(c) テキスト画面は，1 行を 1 つのコメントとして変換します。

(d) テキスト画面のコメント番号は，変換時に前詰めします。

(e) マルチランゲージを設定したテキスト画面は，変換しません。
変換後に GT Designer2 上で再度，基本コメントやコメントグループとして設定してください。

(2) 画面種類の変換仕様

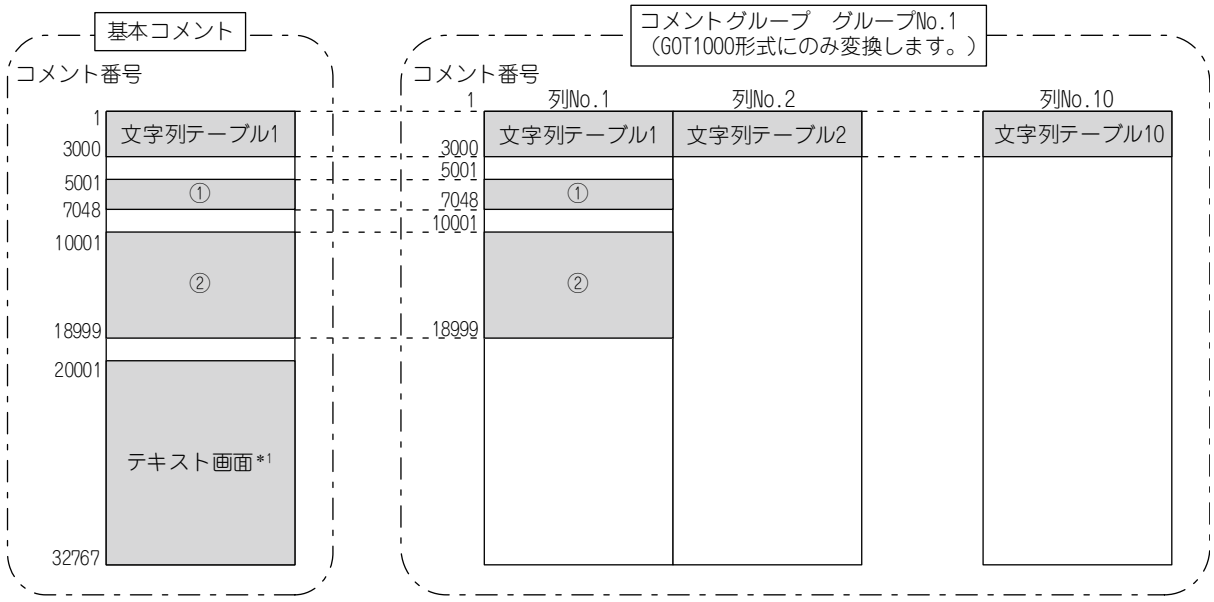
画面種類の変換仕様を下記に示します。

画面情報の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
ベース画面	○	ベース画面および部品	変換先は変換設定画面での設定により変わります。 （☞ 5.3.2 項 変換オプション設定を行う） ベース画面番号：1 ～ 8999 部品番号：1 ～ 8999
マーク画面	×	――	マーク画面は変換しませんが，GT Designer2 の部品がマーク画面と同様の機能を持っています。 マーク画面の画像が必要な場合は，変換後に GT Designer2 の部品で作り直してください。
折れ線グラフ画面	○	ウィンドウ画面	ウィンドウ画面番号：20001 ～ 28999
キーボード画面	○	ウィンドウ画面	ウィンドウ画面番号：10001 ～ 18999
テキスト画面	○	基本コメント	変換先のコメント番号は下記を参照してください。 ☞ 付 2.1 7 基本コメントおよびコメントグループの変換対応
イメージ画面	○	部品	部品番号：10001 ～ 18999
ビデオ画面	×	――	――
ウインドウ画面	○	ウインドウ画面	ウィンドウ画面番号：1 ～ 8999

○：変換可能，×：変換不可

7 基本コメントおよびコメントグループの変換対応

アラームデータ，文字列テーブル，およびテキスト画面から基本コメントおよびコメントグループに変換した際の，変換対応を下記に示します。



① ビット／ワードログアラーム設定
② アラームメッセージ／アラームサマリ設定
*1 テキスト画面のコメント番号は，変換時に前詰めします。

制約事項については，下記を参照してください。

文字列テーブル ……☞ 付 2.1 5 文字列テーブルの変換仕様

ビット／ワードログアラーム設定 ……☞ 付 2.1 3 アラームデータの変換仕様

アラームメッセージ／アラームサマリ設定 ‥☞ 付 2.1 3 アラームデータの変換仕様

テキスト画面 ……☞ 付 2.1 6 画面種類の変換仕様

付 2.2 GP タイプ

GP タイプの変換仕様を下記に示します。

変換元の GP タイプ		変換先の GOT タイプ	
シリーズ名	機種名	GOT1000 形式	GOT-A900 形式
GP2000	GP2500	GT15-V	A97□GOT
	GP2600	GT15-S	A985GOT
	GP2400	GT15-V	A97□GOT
	GP2300	GT15-Q	A95□GOT
	GP2300L		A95□GOT
	GP2500L	GT15-V	A97□GOT
	GP2500S		A97□GOT
	GP2501		A97□GOT
	GP2401		A97□GOT
	GP2601	GT15-S	A985GOT
	GP2301S	GT15-Q	A95□GOT
	GP2301L		A95□GOT
	GP2501S	GT15-V	A97□GOT
	GP2301HS	GT15-Q	A95□GOT
	GP2301HL		A95□GOT
	GP2401HT	GT15-V	A97□GOT
GP77R	GP577R		A97□GOT
	GP477R *1		A960GOT
	GP377R	GT15-Q	A95□GOT

（次のページへつづく）

＊1 GOT1000 形式に変換する場合は，画面サイズ変更の確認メッセージを表示し，画面サイズが 640×480 ドットの GT15-V に変換します。

変換元の GP タイプ		変換先の GOT タイプ	
シリーズ名	機種名	GOT1000 形式	GOT-A900 形式
GP70	GP570	GT15-V	A97□GOT
	GP470 *1		A960GOT
	GP270S	GT15-Q	A95□GOT
	GP370S		A95□GOT
	GP870VM	GT15-V	A97□GOT
	GP571T		A97□GOT
	GPH70S	GT15-Q	A95□GOT
	GP570L	GT15-V	A97□GOT
	GP675	GT15-S	A985GOT
	GP570VM	GT15-V	A97□GOT
	GPH70L	GT15-Q	A95□GOT
	GP270L		A95□GOT
	GP370L		A95□GOT
	GP37WL		A95□GOT
	GP377S		A95□GOT
	GP377L		A95□GOT
	GP37W2		A95□GOT

（次のページへつづく）

＊1 GOT1000 形式に変換する場合は，画面サイズ変更の確認メッセージを表示し，画面サイズが 640×480 ドットの GT15-V に変換します。

変換元の GP タイプ		変換先の GOT タイプ	
シリーズ名	機種名	GOT1000 形式	GOT-A900 形式
GP-Web	GP-Web 200x150 *1	GT15-V	A97□GOT
	GP-Web 800x150 *1		A97□GOT
	GP-Web 200x600 *1		A97□GOT
	GP-Web VGA(640x480)		A97□GOT
	GP-Web 1024x768	GT15-X	GT SoftGOT2
	GP-Web 200x150 for GLC *1	GT15-V	A97□GOT
	GP-Web 800x150 for GLC *1		A97□GOT
	GP-Web 200x600 for GLC *1		A97□GOT
	GP-Web VGA(640x480) for GLC		A97□GOT
	GP-Web 1024x768 for GLC	GT15-X	GT SoftGOT2
GLC	GLC100S	GT15-Q	A95□GOT
	GLC100L		A95□GOT
	GLC200E *1	GT15-V	A960GOT
	GLC300T		A97□GOT
	GLC110T	GT15-Q	A95□GOT
	GLC2400	GT15-V	A97□GOT
	GLC2600	GT15-S	A985GOT
	GLC2300L	GT15-Q	A95□GOT
	GLC2300T		A95□GOT
Factory Gateway	Factory Gateway FGW-SE		A95□GOT

＊1 GOT1000 形式に変換する場合は，画面サイズ変更の確認メッセージを表示し，画面サイズが 640×480 ドットの GT15-V に変換します。

付 2.3　PC タイプ

PC タイプの変換仕様を下記に示します。
変換元の PC タイプが変換できない機種の場合は，プロジェクト情報画面に変換できないことを表示し（☞ 5.2 節 変換元ファイルを開く 3），プロジェクトデータ全体を変換しません。

変換元の PC タイプ		変換後の PC タイプ		
メーカ	PC タイプ	GOT1000 形式	GOT-A900 形式	PC タイプ
三菱電機	MELSEC-AnA(LINK)	○	○	MELSEC-A
	MELSEC-A(ETHER)	○	○	MELSEC-A
	MELSEC-A(JPCN1)	○	○	MELSEC-A
	MELSEC-AnA(CPU)	○	○	MELSEC-A
	MELSEC-AnN(LINK)	○	○	MELSEC-A
	MELSEC-AnN(CPU)	○	○	MELSEC-A
	MELSEC-QnA(LINK)	○	○	MELSEC-QnA/Q
	MELSEC-Q(ETHER)	○	○	MELSEC-QnA/Q
	MELSEC-QnA(CPU)	○	○	MELSEC-QnA/Q
	MELSEC-Q(CPU)	○	○	MELSEC-QnA/Q
	MELSEC-FX(CPU)	○	○	MELSEC-FX
	MELSEC-F2 Series	×	×	———
	MELSEC-FX2(LINK)	○	×	MELSEC-FX
	MELSEC NET/10	×	×	———
	CC-Link インテリジェントデバイス	×	×	———
	CC-Link タイプ	×	×	———
	FREQROL Series	×	×	———
オムロン株式会社	SYSMAC-C Series	○	○	オムロン SYSMAC
	SYSMAC-C 1:n 通信	○	×	オムロン SYSMAC
	SYSMAC-CS1 Series	○	×	オムロン SYSMAC
	SYSMAC-CV Series	○	○	オムロン SYSMAC
	THERMAC NEO Series	×	×	———
	SYSMAC-CS1(ETHER)	×	×	———

（次のページへつづく）

○：変換可能，×：変換不可

変換元の PC タイプ		変換後の PC タイプ		
メーカ	PC タイプ	GOT1000 形式	GOT-A900 形式	PC タイプ
シャープ株式会社	ニューサテライト JW Series	○	×	シャープ JW
株式会社 東芝	PROSEC-T(ETHER)	○	×	東芝 PROSEC T/V シリーズ
	PROSEC-T Series	○	○	東芝 PROSEC T/V シリーズ
	PROSEC-EX2000 Series	×	×	———
株式会社 日立産機システム	HIDIC H Series	○	×	日立 HIDIC H シリーズ
	HIDIC H2 Series	×	×	———
松下電工株式会社	MEWNET-FP Series	○	×	松下電工 MEWNET-FP シリーズ
株式会社 安川電機	MP900/CP9200SH Series	○	×	安川電機 CP9200SH/MP900 シリーズ
	Memocon-SC Series	○	×	安川電機 CP9300MS（MC 互換）
	GL120/130 Series	○	○	安川電機 GL/PROGIC8
	PROGIC8 Series	○	×	安川電機 GL/PROGIC8
	MPPanel Series	×	×	———
	インバータ	×	×	———
横河電機株式会社	FACTORY ACE 1:1 通信	○	×	横河電機 FACTORY ACE
	FACTORY ACE 1:n 通信	○	×	横河電機 FACTORY ACE
	FA-M3(ETHER)	×	×	———
Allen-Bradley (Rockwell Automation, Inc.)	ControlLogix DF1	×	×	———
	PLC-5 Series	×	×	———
	SLC500 Series	○	×	AB SLC500
	Data Highway Plus	×	×	———
	Slc500 DH485	×	×	———
	Remoto IO	×	×	———
Siemens AG	S5 90-115 Series	×	×	———
	S5 135-155 Series	×	×	———
	S5 3964(R) プロトコル	×	×	———
	S7 via 3964/RK512	×	×	———
	S7-200 PPI	×	×	———
	545/555 CPU	×	×	———
	S7-300/400 via MPI	○	×	SIEMENS S7-300/400
	S7-200 via MPI	×	×	———
株式会社デジタル	メモリリンク Ethernet タイプ	○	○	マイコン接続
	メモリリンク SIO タイプ	○	○	マイコン接続

○：変換可能，×：変換不可

付 2.4　画面情報

1 制約事項

画面情報の変換に関する制約事項を下記に示します。

(1) マーク画面は変換しませんが，GT Designer2 の部品がマーク画面と同様の機能を持っています。マーク画面の画像が必要な場合は，変換後に GT Designer2 の部品で作り直してください。

(2) 変換設定画面での設定（☞ 5.3.2 項 変換オプション設定を行う）によりベース画面を部品に変換する場合は，描画情報のみを部品に変換します。

(3) イメージ画面の変換は，描画情報のみを部品に変換します。

付 2.5　描画情報

1 制約事項

描画情報の変換に関する制約事項を下記に示します。

(1) ブリンク設定は変換しません。

(2) 画面からはみ出している描画情報は変換しません。

(3) 変換後の設定項目の内，変換された項目以外は GT Designer2 の初期値が設定されます。

2 変換仕様

描画情報の変換仕様を下記に示します。
変換不可な項目がプロジェクトデータに含まれている場合は，変換不可な項目は変換せずに変換可能な項目のみを変換します。

描画情報の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
ドット	○	長方形	―――
直線／連続直線	○	直線／連続直線	矢印が設定してある場合は，矢印なしの線に変換します。
四角	○	長方形／多角形	角丸，面取り設定への変換は，GOT1000 形式にのみ変換できます。 GOT-A900 形式へ変換時は，面取りを多角形に変換します。
円／楕円	○	円	―――
円弧／扇形	○	円弧／扇	―――
塗込み	○	ペイント	―――
塗込み多角形	○	多角形	―――
目盛り	○	目盛り	円弧目盛りは変換できません。 直線目盛りは変換できます。
文字列	○	文字	インデックス文字列は変換しません。
画面呼出	○	画面呼出し	読み出す画面がイメージ画面の場合，部品表示（表示条件：GB40 立上り）に変換します。
マーク呼出	×	―――	マーク画面を変換しないため，マーク呼出も変換しません。

○：変換可能，×：変換不可

付 2.6　タグ情報

1 制約事項

タグ情報の変換に関する制約事項を下記に示します。

(1) 表示角度は常に 0 度として変換します。

(2) 画面からはみ出しているタグ情報は，変換しません。

(3) カラーの間接指定は白色に変換します。

(4) GOT が対応していない入力符号（例：MSB 符号）を使用している場合は，タグ情報を変換しません。

(5) 相対表示の入力／表示範囲指定方法が間接になっている場合は，データ演算を設定していないオブジェクトに変換します。

(6) タグの警報動作に色替えが設定してある場合，警報動作なしとして変換します。

(7) ゼロ表示の設定は変換しません。
GOT では，データが 0 の時は 0 を表示します。

(8) 演算処理の演算データをオフセット付きのデバイスで間接指定している場合は，演算処理なしとして変換します。

(9) 警報／範囲の範囲値をオフセット付きのデバイスで間接指定している場合は，警報／範囲なしとして変換します。

(10) Q タグは，アラーム履歴に変換します。
拡張アラーム履歴には変換しません。

(11) Q タグの，レベルごとの表示色切換えは変換しません。

2 変換仕様

タグ情報の変換仕様を下記に示します。
変換不可な項目がプロジェクトデータに含まれている場合は，変換不可な項目は変換せずに変換可能な項目のみを変換します。

タグ情報の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
A タグ アラームサマリ（テキスト）表示	○	アラームリスト	――
a タグ アラームサマリ表示	○	アラームリスト	――
C タグ 時計表示	○	時計表示	――
D タグ 統計グラフ表示	○	統計グラフ	――
d タグ 統計値表示	×	――	――
E タグ 数値データ表示拡張機能	○	数値表示	――
F タグ 図形移動表示，フリー移動表示	×	――	――
G タグ グラフ表示 *1	○	レベル／パネルメータ表示	――
g タグ グラフ表示拡張機能 *1	○	レベル／パネルメータ表示	――
H タグ 図形表示	×	――	――
J タグ マーク移動表示	×	――	マーク画面は変換しないため，J タグも変換しません。
K タグ 設定値入力 *2	○	数値／アスキー入力	間接指定が「デバイスタイプ&アドレス」の場合は変換しません。
k タグ タッチキーボード入力	○	キーコードスイッチ	――
L タグ ライブラリ表示	○	部品表示	――
l タグ ライブラリステート表示	○	部品表示	――
M タグ マーク表示	×	――	マーク画面は変換しないため，M タグも変換しません。
N タグ 数値データ表示	○	数値表示	――
n タグ 警報値表示	×	――	――
P タグ フォーマット付き数値表示	○	数値表示	GOT1000 形式にのみ変換できます。 GOT-A900 形式には変換できません。
Q タグ アラーム履歴表示機能，アラームサマリ表示拡張機能	○	アラーム履歴	――
R タグ レール設定	×	――	――
S タグ 文字列表示	○	アスキー表示	――
T タグ タッチパネル入力	○	ビット／ワード／キーコードスイッチ	動作設定にグループが指定してある場合は変換しません。 動作モード／特殊に設定された動作設定の変換仕様は，下記を参照してください。 ☞ 付 2.6 3 T タグの動作モード／特殊に設定された動作設定の変換仕様
t タグ セレクタスイッチ入力	×	――	――
Tih タグ インチング出力	×	――	――
Tiw タグ インチング出力	×	――	――
U タグ ウィンドウ表示	×	――	――
V タグ ビデオウインドウ表示	×	――	――
v タグ ビデオウインドウ表示拡張機能	×	――	――
W タグ デバイスへの書込み	○	状態監視：画面	動作設定がビット反転の場合は変換しません。

○：変換可能，×：変換不可

（次のページにつづく）

タグ情報の項目	変換可否	変換先の項目	備　　考
X タグ テキストデータ表示 *3	○	コメント表示	―――
折れ線グラフ画面：画面設定	○	トレンドグラフ	―――
折れ線グラフ画面：チャンネル設定	○	トレンドグラフ	―――

○：変換可能，×：変換不可

*1　G タグ，g タグが相対設定の場合，入力範囲を上限値／下限値に変換します。
*2　K タグの警報範囲は数値入力の表示範囲設定に変換し，警報範囲外は入力範囲設定に変換します。
*3　X タグに表示開始行ワードアドレスが設定してある場合，そのアドレスをモニタデバイスに変換します。

3 T タグの動作モード／特殊に設定された動作設定の変換仕様

T タグの動作モード／特殊に設定された動作設定の変換仕様を下記に示します。
T タグの動作モード／特殊に設定された動作設定が下表以外の場合は，T タグを変換しません。

T タグの動作設定	キーコードスイッチの動作設定
上移動	カーソルの上移動
下移動	カーソルの下移動
確定	デバイスへ書き込み（実行）／カーソルの移動
開始	カーソルの表示
開始（フリーズモード）	カーソルの表示
終了	カーソルの消去
確認	選択アラームの日時表示（確認）
全確認	全アラームの日時表示（全確認）
ロールアップ	1 行上スクロール
ロールダウン	1 行下スクロール
クリア	復旧済み選択アラームの消去（削除）
全クリア	復旧済み全アラームの消去（全削除）
復旧アラームクリア	復旧済み選択アラームの消去（削除）
全復旧アラームクリア	復旧済み全アラームの消去（全削除）
前画面に戻る	上階層移動

付 2.7　部品情報

1 制約事項

部品情報の変換に関する制約事項を下記に示します。

(1) 部品情報のコメントは変換しません。

(2) 設定値表示機能の変更通知ビットの設定機能は，変換しません。

(3) 設定値表示機能のグルーピング機能は，変換しません。

(4) 部品情報に含まれる描画情報は，図形に変換します。

(5) スイッチ，ランプ，メッセージ表示器の銘板文字は，変換先オブジェクトの銘板として変換されます。(表示位置は中央)

2 変換仕様

部品情報の変換仕様を下記に示します。
変換不可な項目がプロジェクトデータに含まれている場合は，変換不可な項目は変換せずに変換可能な項目のみを変換します。

部品情報の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
ビットスイッチ	○	ビットスイッチ	――
ワードスイッチ	○	データ書込みスイッチ	――
特殊スイッチ	○	キーコードスイッチ	――
トグルスイッチ	○	ビットスイッチ	――
ランプ	○	ランプ表示	――
4 ステートランプ	×	――	――
棒グラフ *1	○	棒グラフ	――
円グラフ *1	○	パネルメータ表示	――
半円グラフ *1	○	パネルメータ表示	――
タンクグラフ *1	○	レベル表示	――
メーターグラフ *1	○	パネルメータ表示	――
折れ線グラフ	○	トレンドグラフ	――
キーボード	○	キーコードスイッチ	――
設定値表示器 *2	○	数値／アスキー入力	――
アラーム	○	ユーザアラーム	――
ファイル項目表示器	×	――	――
ロギング表示器	×	――	――
データ転送表示器	×	――	――
CSV 表示器	×	――	――
ファイルマネージャ表示器	×	――	――
数値表示器	○	数値表示	――
メッセージ表示器	○	ランプ表示	――
日付表示器	○	日付表示	――
時間表示器	○	時計表示	――

○：変換可能，×：変換不可

（次のページにつづく）

部品情報の項目	変換可否	変換先の項目	備　　考
図形表示器	×	———	———
ウィンドウ部品	×	———	———

○：変換可能，×：変換不可

*1　棒グラフ，円グラフ，半円グラフ，タンクグラフ，メータグラフが相対設定の場合，入力範囲を上限値／下限値に変換します。

*2　設定値表示器の警報範囲は数値入力の表示範囲設定に変換し，警報範囲外は入力範囲設定に変換します。

付 2.8　D スクリプト

1 制約事項

D スクリプトの変換に関する制約事項を下記に示します。

(1)　スクリプト中にトリガ以外の変換できない項目を含む場合は，そのスクリプトは変換しません。

(2)　トリガの条件式成立時検出または条件式不成立時検出は，トリガ種別の「常時」に変換します。

Hint!

条件式成立時検出および条件式不成立時検出と同様の機能を，GOT で再現する方法

変換後に GT Designer2 でスクリプトの先頭へ下記制御文を追加すると，D スクリプトと同じ条件でスクリプトを実行できます。

• D スクリプトで条件式成立時検出を使用していた場合

```
if( !< 条件式 > *1  ){ return; }
```

＊ 1 ＜条件式＞は，条件式成立時検出のトリガ式と同じ条件で成立する式。

• D スクリプトで条件式不成立時検出を使用していた場合

```
if( < 条件式 > *2  ){ return; }
```

＊ 2 ＜条件式＞は，条件式不成立時検出のトリガ式と同じ条件で成立する式。

2 スクリプト設定の変換仕様

スクリプト設定の変換仕様を下記に示します。

スクリプト設定の項目		変換可否	変換先の項目	備　考
ID		×	———	———
コメント		×	———	———
トリガ	タイマ，立上り，立下り，変化	○	トリガ種別	———
	条件式	○	トリガ種別（常時）	変換後に GT Designer2 でスクリプトを編集することで，同様の機能を再現できます。 ☞ 付 2.8 1 制約事項
タイマ設定（1 ～ 32767）		○	周期	———
ビットアドレス		○	トリガデバイス	———
トリガ式		×	———	———
実行		○	スクリプトファイル	———
データ形式（BIN/BCD）		○	表示データ形式（BIN/BCD/ 実数）	———
ビット長（16/32）		○	表示データ形式（16/32）	———
符号 +/-（有 / 無）		○	表示データ形式（有 / 無）	———

○：変換可能，×：変換不可

3 定数の変換仕様

定数の変換仕様を下記に示します。

定数の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
Dec（10 進数）	○	———	———
Hex（16 進数）	○	———	———
Oct（8 進数）	○	———	———

○：変換可能，×：変換不可

4 アドレスの変換仕様

アドレスの変換仕様を下記に示します。

アドレスの項目	変換可否	変換先の項目	備　考
テンポラリアドレス	○	テンポラリワーク	———
ビットアドレス	○	ビットデバイス	———
ワードアドレス	○	ワードデバイス	———

○：変換可能，×：変換不可

5 コマンドの変換仕様

コマンドの変換仕様を下記に示します。

コマンドの項目	変換可否	変換先の項目	備　　考
ビットクリアー clear	○	rst	―――
ビットトグル toggle	○	alt	―――
ビットセット set	○	set	―――
メモリコピー（memcpy/_memcpy_EX）	○	bmov	―――
メモリ初期化（memset/_memset_EX）	○	fmov	―――
描画：円（dsp_circle）	×	d_cycle/ p_cycle	―――
描画：画面呼出（b_call）	×	―――	―――
描画：四角（dsp_rectangle）	×	d_rectangle/ p_rectangle	―――
描画：線（dsp_line）	×	d_line	―――
描画：ドット（dsp_dot）	×	p_rectangle	―――
受信（IO_READ/ _IO_READ_EX）	×	―――	―――
送信（IO_WRITE/ _IO_WRITE_EX）	×	―――	―――
待ち受け受信（_IO_READ_WAIT）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
文字列書込み（_strset）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
LS にコピー（_dlcopy）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
LS からコピー（_ldcopy）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
16 進文字列→数値（_hexasc2bin）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
10 進文字列→数値（_decasc2bin）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
数値→ 16 進文字列（_bin2hexasc）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
数値→ 10 進文字列（_bin2decasc）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
文字列長取得（_strlen）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
文字列連結（_strcat）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
部分文字列（_strmid）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
待機（_wait）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用
関数リターン（return）	×	―――	拡張 SIO スクリプト専用

○：変換可能，×：変換不可

6 比較の変換仕様

比較の変換仕様を下記に示します。

比較の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
and	○	&&	―――
or	○	||	―――
not	○	!	―――
<	○	<	―――
<=	○	<=	―――
<>	○	!=	―――
>	○	>	―――
>=	○	>=	―――
==	○	==	―――

○：変換可能，×：変換不可

7 演算子の変換仕様

演算子の変換仕様を下記に示します。

演算子の項目	変換可否	変換先の項目	備　考
+	○	+	―――
-	○	-	―――
%	○	%	―――
*	○	*	―――
/	○	/	―――
=	○	=	―――
<<	○	<<	―――
>>	○	>>	―――
&	○	&	―――
|	○	|	―――
^	○	^	―――
~	○	~	―――

○：変換可能，×：変換不可

8 記述式の変換仕様

記述式の変換仕様を下記に示します。

記述式の項目	変換可否	変換先の項目	備　　考

if(条件式)
{
　　処理
}
endif
	○	if(条件式)
		{
		　　処理 ;
		}
			―――

if(条件式)
{
　　処理 1
}
else
{
　　処理 2
}
endif
	○	if(条件式)
		{
		　　処理 1;
		}
		else
		{
		　　処理 2;
		}
			―――

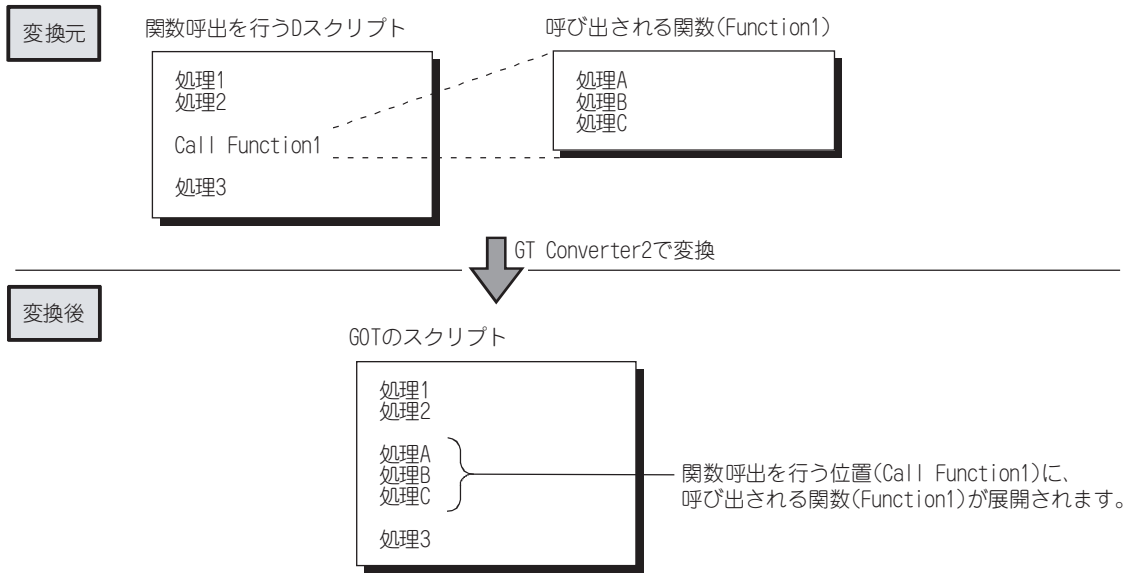
loop(テンポラリ)
{
　　処理
}
endloop
	○	while(テンポラリ)
		{
		　　処理 ;
		　　テンポラリ = テンポラリ - 1;
		}
			loop 文内の処理にテンポラリ以外のデバイスへの書込みが記述されている場合は，loop 文を変換しません。

break	○	break;	―――

○：変換可能，×：変換不可

9 関数の変換仕様

関数は，関数呼出された箇所に展開されます。



付 2.9 LS エリア

LS エリアの変換仕様を下記に示します。

1 制約事項

LS エリアの変換に関する制約事項を下記に示します。

(1) LS0 ～ LS2031 および LS2096 ～ LS8191 は，LS エリアアドレスと同じデバイス番号の GOT データレジスタ GD に変換します。（例：LS4000 は GD4000 に変換します。）
変換元 LS エリアの機能は変換後の GOT データレジスタ GD（ユーザエリア）に引き継がれませんので，必要な場合は変換後に GT Designer2 で修正してください。

(2) LS0 ～ LS63 を GOT-A900 形式に変換した場合は，GD0 ～ GD63 は使用禁止なため，変換後に GT Designer2 で他のデバイスに変更してください。

(3) LS0 ～ LS19（システムデータエリア）は GOT データレジスタ GD（ユーザエリア）に変換されるため，変換前に使用していた機能は使えなくなります。

2 LS エリアの変換仕様

LS エリアの変換仕様を下記に示します。

(1) D スクリプト内に記述された LS エリアも，オブジェクトに設定された LS エリアなどと同様に変換します。

変換元 LS エリア	変換先デバイス	内　容	備　考
LS0 ～ LS2031	GD0 ～ GD2031	内部デバイス	LS エリアアドレスと同じデバイス番号に変換します。
LS2032	GS0	共通リレー情報	☞ 付 2.9 3 LS2032 の変換仕様
LS2033	GS1	ベース画面情報	☞ 付 2.9 4 LS2033 の変換仕様
LS2035	GS7	1 秒バイナリカウンタ	―――
LS2036	GS8	タグのスキャンタイム	―――
LS2038	GS10	タグのスキャンカウンタ	―――
LS2096 ～ LS8191	GD2096 ～ GD8191	内部デバイス	LS エリアアドレスと同じデバイス番号に変換します。
上記以外の LS エリア	―――	―――	デバイスを設定していない状態に変換します。

3 LS2032 の変換仕様

LS2032 の変換仕様を下記に示します。

ビット	変換先デバイス	内　容	備　考
0	GS0.0	通信 1 サイクル毎に ON/OFF を繰り返します。	———
1	GS0.1	画面切り替えからタグ処理完了まで ON し続けます。	———
2	———	通信エラー発生時のみ ON します。	デバイスを設定していない状態に変換します。
3	GS0.3	電源投入後の初期画面を表示している間 ON し続けます。	———
4	GS0.4	常時 ON し続けます。	———
5	GS0.5	常時 OFF し続けます。	———
6	———	バックアップ SRAM のデータが消えたときに ON します。	デバイスを設定していない状態に変換します。
7	GS14.7	D スクリプト使用時，BCD エラー発生で ON します。	———
8	GS14.8	D スクリプト使用時，0 除算エラー発生で ON します。	———
9	———	書込み完了ビットアドレス（ファイリングデータ→ SRAM）	デバイスを設定していない状態に変換します。
10		転送完了ビットアドレス	
11		ファイリングデータでファイル項目表示器による SRAM → LS エリア間の転送中 ON し続けます。	
12	GS14.12	D スクリプト使用時，memcpy()，およびアドレスオフセット指定の呼び出しで，通信エラー発生すると ON します。 正常にデータ読み出しが終了すると OFF します。	———
13 ～ 15	———	予約エリア	デバイスを設定していない状態に変換します。

4 LS2033 の変換仕様

LS2033 の変換仕様を下記に示します。

ビット	変換先デバイス	内　容	備　考
0	GS1.0	ベース画面の通信 1 サイクル毎に ON/OFF を繰り返します。	———
1	GS1.1	画面切換えからタグ処理完了まで ON し続けます。	———
2 ～ 15	———	———	デバイスを設定していない状態に変換します。

付 3 GP-PRO/PB Ⅲシリーズプロジェクトデータの置き換え手順

デジタル社製の作画ソフトウェア GP-PRO/PB Ⅲシリーズで作成したプロジェクトデータを GT Designer2 のプロジェクトデータに置き換える手順を説明します。

[条件]
置き換え環境（作画ソフトウェア）
　置き換え元データ：GP-PRO/PB Ⅲシリーズ
　置き換え先データ：GT Designer2 Version2

機種
　置き換え元：GP2000 以前の機種
　置き換え先：GOT1000 シリーズ

[注意事項]
手順書の他社情報に関する記載は，弊社調査内容による記載です。置き換え後の動作検証は，お客様にて充分な実施をお願いします。
また，タグ対応一覧表（別資料）は，弊社支社営業窓口まで請求してください。

付 3.1 置き換え手順

	手順	確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
1	元データの確認		
	・元データを一通り確認	・GP-PRO/PB Ⅲにて，タグ一覧を印刷します。 （使用データの確認，及び，置き換え完了後のチェックに使用します。） ・プロジェクト情報 ・システム設定 ・画面情報（画面のハードコピー，画面呼び出し一覧，タグ一覧） ・デバイス使用リスト	－
	・画面ごとに使用しているタグ一覧の作成	・印刷したタグ一覧は，置き換え画面の手作業による修正時に，修正漏れが無いかのチェックに使用します。	－
	・システム構成の確認	・GP-PRO/PB Ⅲにて，GP システムの設定を確認します。	－

手順		確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
2	GT Converter2 で変換		
	・GT Converter2 の起動		
	・変換したいプロジェクトを開く	・GP-PRO/PB Ⅲのプロジェクトファイルは＊.prw/ ＊.pro です。	－
	・プロジェクト情報の確認	・ファイル名，タイプ，タイトル，PC タイプ（接続シーケンサ），端末タイプ（GP の機種） ・変換可否：変換可能ならば，変換実行。変換不可な場合は手作業で置き換えます。	－
	・オプションの選択　変換オプション	＜ベース画面をベース画面と部品に変換する＞ ・ベース画面に関するオプションです。 ・部品個数（元データの画面枚数）が多い時はチェックを入れ，変換後に 不要な画面などを削除すると簡単です。 ＜Ｌタグの画面指定をベース画面から部品に変換する＞ ・“ベース画面をベース画面と部品に変換する”をチェックするとチェック可能となります。 ・“ベース画面をベース画面と部品に変換する”をチェックしたときは，あわせてチェックを入れ，変換後に不要な画面などを削除すると簡単です。 --------- 以下，GP2000 からの置き換えでは不要 ---------- ＜文字列の背景色を変換する＞ ・変換形式　A900 選択時のみ選択可能です。変換時にチェックします。 ＜パスワードを変換する＞ ・GOT800 から GOT1000 への変換時のみ選択可能です。	－
	・オプションの選択　＜変換するログアラーム＞	・元データで使用されているアラーム形式を選択します。ビットログアラームとワードログアラームの両方が使用されている場合は，それぞれを個別に変換し，変換後のデータをマージします。	－
	・オプションの選択　＜変換形式＞	・変換後の GOT の形式を選択します。	－
	・変換の実行		

手順			確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
3	変換データの確認			
	・変換結果を確認します。	変換結果	・変換が完了すると，変換結果が表示されます。この変換結果は，変換先フォルダに保存されています。 ・エラー情報等は，マニュアルをご参照ください。	5.4　変換結果を確認する
		変換後のデータ	・変換により以下のファイルが出力されるのでご確認ください。 ・＊．TXT　：　変換結果 ・＊．ｇ1　：　変換した画面データ（バイナリ形式） ・＊．ｇ1ｄ：　変換した画面データ（バイナリ形式） （＊：元データのファイル名）	－
	・正常に変換できなかった場合	変換前の元データの修正により正常に変換できる場合	・変換前の元データの GP サイズが 0 の場合は正しく変換されないことがありますので，GP-PRO/PB Ⅲ で 各画面を再保存してから変換を実行すると改善される場合があります。 ・グループ化されたタグや部品は正しく変換されないことがありますので，GP-PRO/PB Ⅲでグループ化を解除してから再度，変換を実行してください。	－
		変換後に手作業によるデータ修正が必要な場合	・変換した画面の背景色が変換元と異なる場合（実際にはペイントの色となっています。） →画面上に配置されている閉図形内のペイントの位置が変換後の画面で図形からはみ出しています。または図形が閉図形になっていないことが原因です。変換後のデータで該当箇所を探して，ペイントの位置または図形を閉図形に修正してください。 （該当箇所がスイッチ図形の場合もありますので，その場合は，スイッチ図形をライブラリに登録してから修正してください。）	－
	・その他	注意事項	・初期画面設定の初期画面番号は変換されません。 →スクリプト又はラダーで実現可能です。 （GT Converter2 のマニュアルに例題があります。）	付 .2.1　プロジェクトデータの変換仕様
			・文字列テーブルのコントロールアドレスに割り当てられているデバイスは，GOT1000 形式の場合のみ，言語切り換えデバイスに変換されます。	
		変換仕様	・アラームデータ ・文字列テーブル ・画面種類 ・基本コメント及び，コメントグループ	
			・GP タイプ	付 .2.2　GP タイプ
			・PC タイプ	付 .2.3　PC タイプ
			・画面情報	付 .2.4　画面情報
			・描画情報	付 .2.5　描画情報
			・タグ情報	付 .2.6　タグ情報
			・部品情報	付 .2.7　部品情報
			・D スクリプト	付 .2.8　D スクリプト
			・LS エリア	付 .2.9　LS エリア
			・タグ全般	タグ対応一覧表（弊社支社営業窓口にお問い合わせください）
4	手作業による修正			
①	GT Designer2 で *.g1 のファイルを開く		・GTD2 にて，GT Convertor2 で変換されたファイル（＊．ｇ1）を開きます。	－
	内部のシステム情報		・初めに，GP と GOT の考え方の違いを確認してください。	付 3.2 GP2000 システムデータ

手順		確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
②	接続機器タイプの確認＆設定		
③	画面切り換え／ウィンドウ切り換えデバイスの確認＆設定	ベース画面	・画面切り換えデバイスは，GP2000 のシステム先頭アドレスの +8（切り替え画面番号）のデバイスを設定してください。 ・システム先頭アドレスの確認方法 → GP-PRO/PB Ⅲにて，『画面 / 設定』-『GP システムの設定』-『モードの設定タブ』	－
		ウィンドウ画面	・ウィンドウを使用しているプロジェクトの場合は，プロジェクトに影響しないデバイスを設定してください。	－
			・GP の U タグのウィンドウコントロールデバイスと GOT のウィンドウ切り換えデバイスは，考え方が違いますのでご注意ください。 ・GOT はベース画面切り換えと同様に，ウィンドウ切り換えデバイス値と同じ番号のウィンドウを表示します。 GP のグローバルウィンドウ間接指定に近いイメージです。 ・GP は，グローバルウインドウ以外はローカルなウインドウで，ベース画面が切り換わるとウインドウが消去します。GOT のウインドウはすべてグローバルウインドウですので，ベース画面が切り換わるとウインドウが消去する動きを実現するためには，スクリプトなどの設定が必要となります。	付 3.2 GP2000 システムデータ
④	接続機器の設定		・GOT が対応していない PC タイプの場合，元データを GOT が対応している機種に変更した後，再度変換を実行します。GT Convertor2 が，新しい PLC 又は三菱製以外の PLC に対応していない場合がありますので，手作業にて，接続機器設定を元データの設定に修正してください。	付 .2.3　PC タイプ
⑤	初期画面の設定		・初期画面設定の初期画面番号は変換されません。 →スクリプト又はラダーにより指定した画面を初期画面として表示してください。 （GT Converter2 のマニュアルに例題があります。） <ポイント> ・電源投入時，画面切り換えデバイスの値が 0 の場合，GOT はダウンロードされている画面の中で最も小さい画面番号のベース画面を表示します。	付 .2.1　プロジェクトデータの変換仕様

手順			確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
⑥	各画面の修正	全般	・変換結果でエラーとなったオブジェクトを手作業で変換します。	タグ対応一覧表（弊社支社営業窓口にお問い合わせください）
			・スイッチ，ランプの図形には，後で修正し易いように，基本図形を使用することをお勧めします。	－
			・変換結果で NG になったものについては，タグ対応一覧表に変換のヒントが記載されていますので，参考にして，手作業で置き換えしてください。 ・変換結果で OK となったものについても，タグ対応一覧表で注意事項の有無をご確認ください。	－
		画面呼び出し	・呼び出される画面のデータを左上（0,0）に配置して，基本画面の表示したい場所に配置します。	－
		図形のブリンク	・GOT では，ランプ属性を使用し，常時 ON デバイスを設定してブリンクさせます。	－
		L タグ	・ベース画面に登録してある L タグ用の図形は，部品に登録し，ベース画面は削除します。 ・部品個数（元データの画面枚数）が多い時は，変換するときの変換オプションで「ベース画面をベース画面と部品に変換する」，「L タグの画面指定をベース画面から部品に変換する」にチェックを入れ，変換後に不要な画面などを削除すると簡単です。	－
		K タグ	・GOT では自動クリア有の動きとなります。 ・オブジェクト単位でのバーコード入力には対応していません。	－
		X タグ	・X タグ　→コメント表示	－
		U タグ	・U タグ　→ウィンドウ切り換え	－
		T タグと L タグの重なり	・T タグと L タグの重なりは一つのタッチスイッチに置き換え可能です。	－
		D スクリプト	・「共通設定」-「スクリプト」-「オプションタブ」で，「内部デバイス（GD/GB）代入遅延解除」にチェックを入れ，スクリプトデータ格納先を「プロジェクトデータ内（内部データ）」に設定してください。	
		階層画面切替	・GP の画面切り換え動作の初期設定は「前画面に戻る」のため，システム設定の階層画面切替にチェックがない場合は，GOT の画面切り換えの動作モードは「履歴」に設定してください。	－
		オブジェクトの図形に使用されたペイント	・ペイントの色がはみ出している場合は，画面を拡大し，4 分割くらいの表示にして原因箇所（ペイント設定箇所）を特定します。（画面外にある場合は塗りつぶしがされないため。） ・ペイントが設定されているオブジェクトを特定したら，図形をライブラリにコピーして，ライブラリエディタにてペイントを削除し，オブジェクト図形に再設定してください。 ・スイッチ・ランプ以外の枠図形の場合，標準の枠図形から再設定してください。	－
		ローカルウィンドウ	・画面により，下記の対応を実施してください。 ・プロジェクトスクリプトで必要な画面のみ表示するようにしてください。 ・画面切換えスイッチで，ウィンドウをクローズしてください。	－
		文字列テーブル	・「共通設定」-「システム環境」-「言語切り換え」で，「デバイス範囲外（1 ～ 10 以外）時表示列 No.」にチェックを入れ，表示列 No. を GP の「初期文字列テーブル設定」にあわせて設定してください。	－

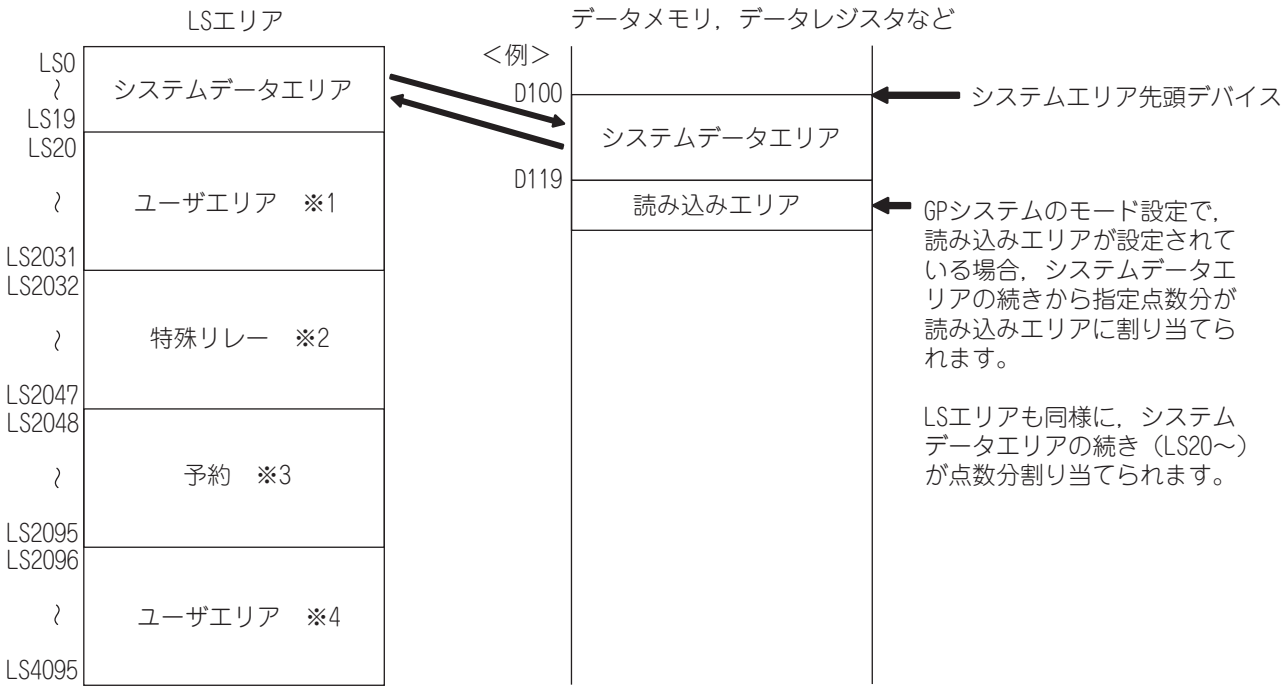
手順			確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
⑥	・ラインプリンタ	バーコードリーダ	・シーケンサ，スクリプト等でハンドシェイク処理の作成が必要です。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 4.9 章シリアル 1 次元バーコードリーダの対応
		2 次元コードリーダ	・シーケンサ，スクリプト等でハンドシェイク処理の作成が必要です。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 4.8 章 2 次元コードリーダの対応
		画面ハードコピー印字	・ハードコピーの設定が必要です。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 4.7.10 章画面キャプチャ
		Q タグ印字（リアルタイム）	・同等機能はありません。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 2.20.9 章 Q タグ用 GP システムの設定
		Q タグ印字（一括）	・CSV で保存したファイルをパソコンで印刷するなどを検討してください。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 2.20.9 章 Q タグ用 GP システムの設定
		ロギング印字（リアルタイム）	・同等機能はありません。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf の 4.3 章　ロギング機能
		ロギング印字（ブロック単位）	・CSV で保存したファイルをパソコンで印刷するなどを検討してください。 ・レポート機能で代用が可能かを検討してください。	
		CSV データ印字	・同等機能はありません。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 4.5.6 章 CSV データの印字
	・RAM バックアップ		・同等機能はありません。	【デジタル社】 タグリファレンスマニュアル _gpwtag.pdf 4.12 章バックアップ SRAM の容量
⑦	オブジェクトのサイズや見栄えの修正		－	－
⑧	タッチエリアをオブジェクトサイズに合わせて修正		・タッチスイッチの有効エリア（16 ドット単位）を修正してください。 ※GT16 以外。	－
⑨	プロジェクト保存		・ファイル名は元データと同じ名称にします。	－

手順		確認事項 （置き換え時の注意事項，ポイントなど）	参考資料
5	動作を確認		
	・GP と GOT の実機がある場合	実機にて，GP と GOT の動きの比較をします。 ・元データと置き換え後のオブジェクト（スイッチ，ランプ等）が同じ動作をする事を確認してください。 ・シーケンサのデバイス値は，GX Developer のデバイステスト機能を使い値を変更して動作を確認してください。	−
	・GP と GOT の実機がない場合	シミュレータにて，GP と GOT の動きの比較をします。 ・GP の場合は，GP-Pro EX プロジェクトコンバータで GP3000 のデータに変換し，GP-Pro EX Simulation で動作を確認してください。 ・GOT の場合は，GT Simulator2 で動作を確認してください。	−

付 3.2　GP2000 システムデータ

【システムデータエリア】
GP2000 本体の内部デバイスを，LS エリアと呼びます。
LS エリアの先頭から 20 ワードは，システムデータエリアです。

システムデータエリアとは，画面切り替えなどの基本的な動作を行うために，GP が PLC のメモリ領域に占有する定義済み領域のことで，各アドレスごとにあらかじめ機能が決められています。システムデータエリアは，GP がホストとデータのやり取りを行う媒体となります。GP の「初期設定／動作環境の設定」で PLC のアドレスを指定すると，そこから連続して自動的にシステムデータエリアが割り付けられます。



※1 ウィンドウ表示などPLCにデータを与える必要のない場合に使用されるデバイス
※2 GOTの内部デバイスGSのようなデバイス。詳細はシーケンサのマニュアルを参照してください
※3 拡張時に使用
※4 GP Ver4.0以降から追加されたエリア

※LSエリアはGPの電源をOFFにしてもデータを保持しますが，
GOTは電源をOFFにするとデータをクリアしますので，注意してください。

※LSデバイスはGT Converterにかけるとと GOTの内部ワードデバイスGDに変換されますので，
画面切り換えデバイスに相当するデバイスは，一括変換してください。

※マイコン接続の場合，+8ではないので注意してください。

【システムデータエリアの内容と領域】
システムデータエリアは，GP オフラインモードの「初期設定／動作環境の設定」で「システムエリア先頭アドレス」を指定すると，自動的に PLC 内部に設けられます。
内容を下図に示します。

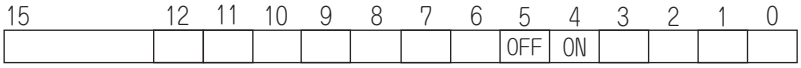
エリア	ワードアドレス	内容	ビット	備考
GP → PLC 書き込み専用エリア	+0	表示中画面番号	1 ～ 8999（ただし，BCD で入力の場合は 1 ～ 1999）	
	+1	エラーステータス GP のエラー状態によって各ビットが変化します。 エラー時にビットが ON します。 電源を ON → OFF → ON でビットクリアされます。	0，1	未使用
			2	システム ROM/RAM
			3	画面記憶メモリチェックサム
			4	SIO フレミング
			5	SIO パリティ
			6	SIO オーバーラン
			7，8	未使用
			9	内部記憶メモリの初期化必要
			10	タイマークロック異常
			11	PLC 通信異常
			12 ～ 15	未使用
	+2	時計「年」の現在値 BCD2 桁	西暦の下 2 桁	
	+3	時計「月」の現在値 BCD2 桁	01 ～ 12 月	
	+4	時計「日」の現在値 BCD2 桁	01 ～ 31 日	
	+5	時計「時分」の現在値 BCD4 桁	00 ～ 23 時，00 ～ 59 分	
	+6	ステータス	ビット対応 ビット 0：PLC 占有 2：プリント中 3：設定値書き込み 予約 7：k タグ入力エラー 予約 15 ※ 必要ビットのみをビット単位でモニタしてください。 なお，予約ビットは GP システムでメンテナンスなどに使用している場合がありますので，ON/OFF は不定です。	
	+7	予約	－	

	ワードアドレス	内容	ビット	備考
PLC→GP 読み込み専用エリア	+8	切り換え画面番号	1 ～ 8999（ただし，BCD で入力の場合は 1 ～ 1999） <例> システム先頭アドレスが「D00000」の場合は，「D00008」が切り換え画面番号となります。	
	+9	画面表示の ON/OFF	FFFFh ならば画面表示が消えます。0 で画面を表示します。	
	+10	時計「年」の現在値 BCD2 桁＋設定フラグ	西暦の下 2 桁 （15 ビット目が時計データの書き換え用フラグになります。）	
	+11	時計「月」の現在値　BCD2 桁	01 ～ 12 月	
	+12	時計「日」の現在値　BCD2 桁	01 ～ 31 日	
	+13	時計「時分」の現在値　BCD4 桁	00 ～ 23 時，00 ～ 59 分	
	+14	コントロール ※GOT のシステム情報に相当	ビット対応 ビット0：バックライトOFF 1：ブザーON 2：プリント開始 3：予約 4：ブザー音 0：出力 1：非出力 5：AUX出力 0：出力 1：非出力 6：予約 7：PLC占有 0：非占有 1：占有 8：VGA表示 0：非表示 1：表示 9 10：予約 11：ハードコピー出力 0：出力 1：出力キャンセル 15：予約 ※ 予約ビットは GP のシステムでメンテナンスなどに使用している場合がありますので，必ず OFF にしてください。	
	+15	予約	0 にしてください。	
	+16	ウィンドウコントロール	ビット対応 ビット0：ウインドウ表示 0：非表示 1：表示 1：ウインドウの重なり順序の入れ替え 0：可 1：不可 15：予約	
	+17	ウィンドウ登録番号	間接指定時のグローバルウィンドウの登録番号 （BIN または BCD）	
	+18	ウィンドウ表示位置 （X 座標データ）	間接指定時のグローバルウィンドウの表示座標 （BIN または BCD）	
	+19	ウィンドウ表示位置 （Y 座標データ）		

【特殊リレー】
GP70 シリーズの特殊リレーの構成は次のとおりです。

LS2032	共通リレー情報	
LS2033	ベース画面情報	
LS2034	予約	
LS2035	1秒バイナリカウンタ	
LS2036	タグのスキャンタイム	
LS2037	通信のサイクルタイム	
LS2038	タグのスキャンタイム	
LS2039	通信エラーコード	
LS2040	トークン周回速度最大値	n:1（マルチリンク）接続時のみ使用
LS2041	トークン周回速度現在値	
LS2042 ～ LS2047	予約	

【共通リレー情報（LS2032)】



ビット	内容
0	通信サイクルごとに ON/OFF を繰り返します。
1	画面（ベース，ウインドウ）切り替えからタグ処理が完了するまでの間 ON になります。
2	通信エラー発生中のみ ON になります。
3	電源投入直後の初期画面を表示している間 ON になります。
4	常時 ON になってます。
5	常時 OFF になってます。
6	バックアップ SRAM のデータが消えたときに ON します。（バックアップ SRAM 搭載の GP のみ）
7	D スクリプト使用時，BCD エラーが発生すると ON になります。 D スクリプト 参照→ タグリファレンスマニュアル 3.1 D スクリプト
8	D スクリプト使用時，ゼロ割算エラーが発生すると ON になります。
9	ファイリングデータでバックアップ SRAM に転送できなかった場合に ON になります。
10	ファイリングデータのコントロールワードアドレスによる転送で，PLC → SRAM の転送ができなかった場合に ON します。また，ファイル項目表示器による PLC 間の転送で，転送完了ビットアドレスがありの場合のみ，PLC →エリア，PLC → SRAM の転送ができなかった場合に ON します。
11	ファイリングデータでファイル項目表示器による SRAM ←→ LS エリア間の転送中の間 ON になります。
12	D スクリプト使用時，memcpy()，アドレスオフセット指定の読み出しで通信エラーが発生すると ON になります。正常にデータ読み出しが終了すると OFF になります。
13 ～ 15	予約

【ベース画面情報（LS2033)】

ビット	内容
0	ベース画面の通信の 1 サイクルごとに ON/OFF を繰り返します。 LS2032 の 0 ビット目と同じ周期で ON/OFF します。
1	ベース画面切り替えから，タグ処理が完了するまでの間 ON します。
2 ～ 15	－

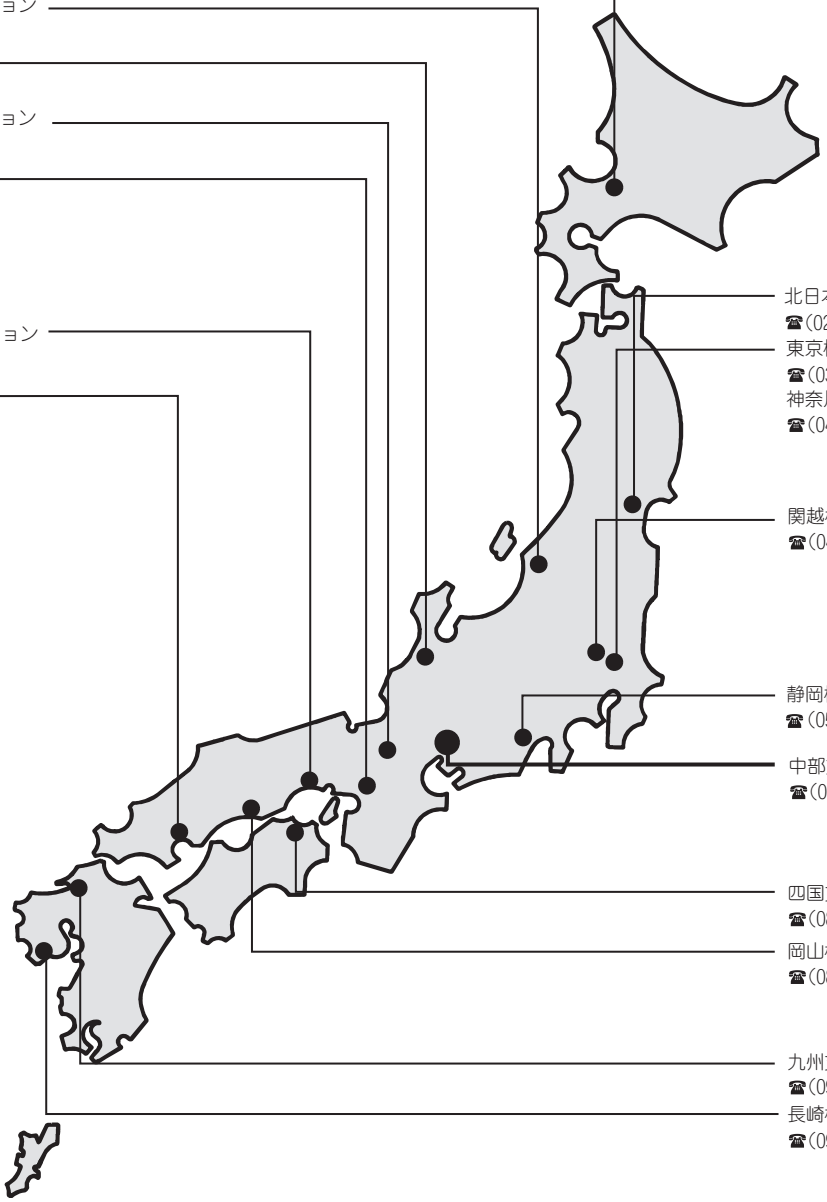
付 .4 GT Converter2 のバージョンアップ追加機能一覧

GT Converter2 Version2.00A 版から 2.80J 版までに，追加された機能を以下に示します。
以下の機能を使用する場合は，該当するバージョン以降の GT Converter2 を使用してください。

1 追加された変換仕様

変換仕様		GT Converter2 のバージョン
変換できる GOT タイプの追加 （☞ 付 2.2 GP タイプ）	GT15-X	2.25B
	GT15-Q	2.40S
変換できる PC タイプの追加 （シャープ株式会社製シーケンサ「ニューサテライト JW Series」他（☞ 付 2.3 PC タイプ））		2.07H
T タグの動作モード／特殊に設定された動作設定に対応		2.07H
	前画面に戻るに対応	2.40S
D スクリプトのトリガに設定された条件式を，トリガ種別の「常時」に変換		2.25B
変換オプション設定の「文字列の背景色を変換する」が GOT-A900 形式のみサポートに変更		2.40S
アラームのメッセージを拡張アラームポップアップ表示に変換		2.40S
アラームのメッセージをコメントグループに変換		2.40S
スイッチ，ランプ，メッセージ表示器の銘板文字を，変換先オブジェクトの銘板として変換		2.40S
角丸，面取り設定の変換は GOT1000 形式のみ対応，GOT-A900 形式では面取りを多角形に変換		2.66U
G タグ，g タグが相対設定の場合，入力範囲を上限値／下限値に変換		2.66U
K タグ，設定値表示器の警報範囲は数値入力の表示範囲設定に変換，警報範囲外は入力範囲設定に変換		2.66U
X タグに表示開始行ワードアドレスが設定してある場合，そのアドレスをモニタデバイスに変換		2.66U
グラフ系オブジェクトが相対設定の場合，入力範囲を上限値／下限値に変換		2.66U
GOT800 シリーズからの変換で，バーコード設定の変換に対応		2.72A
GOT800 シリーズからの変換で，パスワード設定の変換に対応		2.72A
GOT800 シリーズからの変換で，GOT800 の表示仕様（部品表示の描画モードが XOR の場合，グループ化した図形を一度に XOR 表示）の変換に対応		2.80J
GOT800 シリーズからの変換で，「システム設定」の「標準フォント」の「フォント言語」を「日本語（欧州対応）」に設定		2.80J

サービスネットワーク（三菱電機システムサービス(株)）



北海道支店
☎(011)890－7515
新潟機器サービスステーション
☎(025)241－7261
北陸支店
☎(076)252－9519
京滋機器サービスステーション
☎(075)611－6211
関西機電支社
☎(06)6458－9728
姫路機器サービスステーション
☎(079)281－1141
中四国支社
☎(082)285－2111
北日本支社
☎(022)238－1761
東京機電支社
☎(03)3454－5521
神奈川機器サービスステーション
☎(045)938－5420
関越機器サービスステーション
☎(048)859－7521
静岡機器サービスステーション
☎(054)287－8866
中部支社
☎(052)722－7601
四国支店
☎(087)831－3186
岡山機器サービスステーション
☎(086)242－1900
九州支社
☎(092)483－8208
長崎機器サービスステーション
☎(095)818－0700

Microsoft，Windows，Windows NT，Windows Vista は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe，Adobe Reader は，Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
Pentium，Celeron は，Intel Corporation の米国およびその他の各国における商標および登録商標です。
Ethernet は，米国 Xerox.co.ltd の登録商標です。
MODBUS は，Schneider Electric SA の登録商標です。
PC-9800，PC98-NX は，日本電気株式会社の登録商標です。
その他，本文中における会社名，商品名は，各社の商標または登録商標です。

SH(名)-080512-J

Integrated FA Software

GT Converter2

Version 2

操作マニュアル

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部 …… 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル) …… (03)3218-6760
北海道支社 …… 〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル) …… (011)212-3794
東北支社 …… 〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル)…… (022)216-4546
関越支社 …… 〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー) … (048)600-5835
新潟支店 …… 〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命ビル)…… (025)241-7227
神奈川支社 …… 〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)…… (045)224-2624
北陸支社 …… 〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)…… (076)233-5502
中部支社 …… 〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル) …… (052)565-3314
豊田支店 …… 〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル) …… (0565)34-4112
関西支社 …… 〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル) …… (06)6347-2882
中国支社 …… 〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル) …… (082)248-5445
四国支社 …… 〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル) …… (087)825-0055
九州支社 …… 〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル) …… (092)721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ:http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb
MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録(無料)が必要です。

電話技術相談窓口

対象機種		電話番号	受付時間※1
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど	052-712-2417	月曜～金曜 9:00～19:00
	MELSOFT GTシリーズ		
FGOT/DU表示器	GOT-F900シリーズなど	052-725-2271	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSEC-FX/F	Fシーケンサ全般		
MELSEC-Q/L/QnA/A シーケンサ	シーケンサー般(下記以外)	052-711-5111	月曜～金曜 9:00～19:00
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	
	位置決めユニット ※2	052-712-6607	
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	MELSOFT iQ Works (Navigator)	052-711-0037	月曜～金曜 9:00～19:00
	MELSOFT GXシリーズ		
	SW□IVD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
	SW□D5F-CSKP/OLEX/XMOPなど		
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU	052-712-2830	
	二重化CPU		
	MELSOFT PXシリーズ		
MELSEC Safety	安全シーケンサ/安全コントローラ	052-712-3079	
ACサーボ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607	月曜～金曜 9:00～19:00
モーションコントローラ	モーションCPU(Q/Aシリーズ)		
	MELSOFT MTシリーズなど		
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182	

FAX技術相談窓口

MELFANSwebまたは, H@ISEIwebのQ&Aもご利用ください。
なお, お急ぎの場合は, お手数ですが, 上記電話技術相談窓口までご相談ください。

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時※3)

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日
※2: ACサーボ、モーション窓口にて対応します
※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

本マニュアルは, 輸出する場合, 経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

形名	SW2-GTCONV-O
形名コード	1D7M16
SH(名)-080512-J(1008)MEE	

この印刷物は2010年8月の発行です。なお, お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

この標準価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が付加されますのでご承知おき願います。

2010年8月作成

標準価格 1,500円